

特別
= 2
4587





八
入
間
新
鳥
去
鳥

新
鳥
去
鳥

=2
4527

94-289

鐘音百八 人間福祿 深相慰志 俄企社



出散

羽中圓

其

色赤以

人集文市

塵劫記序

山城刈葛野郡嵯峨村人夏吉田光由
頃者介或人扣予柴扉眉毛厮結於是
乎自袖裏携十八卷書來被需書名與序
跋予披之觀之實算法靈樞也予問云
是誰所作也光由荅云我自少時癖築
法而諸家算法繁者芟之畧者詳之集
而大成是我可述也此外雖所製算書

佐藤仁之助藏書

數卷有之卷而懷之可謂勤矣予於算者不識六與七為什麼塞其責橫點頭者再三雖然不曾饒終弗獲默止付與毛先生毛先生突出曰夫算者自天地定位萬物流形以來其數及萬有一千五百二十零數其外更有刻限數人息數不暇縷數加之伏羲始畫八卦周公叙述九章陽數為奇陰數為陽老陽二十

五老陰二十五膺合五十數為大衍數既又起律呂七均法宮數者法八十一商數者法七十二角數者法六十四徵數者法五十四羽數者法四十八變宮數者法四十二變徵數者法五十六舉算極數言之則有一十百千萬億兆京垓秭壤漭澗正載極萬七極曰恒河沙萬七恒河沙曰阿僧祇萬七阿僧祇曰

那由他萬七那由多曰不可思議萬七
不可思議曰無量大數也舉小數言之
則有埃塵纖微忽絲毫釐分文兩斤舉
糧數言之則有粟圭撮勺合外斗斛舉
由數言之則有忽絲毫釐分步畝反町
然矧算法者盤觚於黃帝時隸首作算
數而浸備六藝之一故名算藝者無不
庸以故光由作為此書自此觀其書知

其人名岳無窮舉一明三為後人龜鑑
是以掌內識乾坤者必矣且為題其首
目之曰塵劫記蓋本塵劫來事絲毫不
隔之句莫謗予好維時寬永四年丁卯
秋八月日龜毛舜岳質衲
光為之序



塵劫記上卷之目録

才一

才二

才三

才四

才五

才六

才七

才八

才九

大守此名之事

一石より一石小守の名之事

一石より一石小守の名の事

田乃名守此

諸物經童之事

九九の事

八さんより此圖付くけさんあり

見一乃より此の圖付かけさんあり

くひてより此の事あり



三ツリケリーヤ
恒河沙

万万粒シテ

阿僧祇

万万恒河沙シテ

那由他

万万阿僧祇シテ

不可思議

十恒河沙

十阿僧祇

十那由他

十不可思議

百恒河沙

百阿僧祇

百那由他

百不可思議

千恒河沙

千阿僧祇

千那由他

千不可思議

無量大數

むすやうちぢぢ
万万不可思議と云ふ

才二

一よりうらたこす乃名のり

鐵	毫	兩
沙	絲	文
塵	忽	分
埃	微	厘

一石より内此こり子る

撮 粒七米下	合 粒十七米下	石 粒万六米上
圭 粒百七米下	勺 粒十七米下	斗 粒万七米下
粟 粒十七米下	抄 粒十七米下	升 粒万七米下

田のうす乃名の

一町 但幸一万四方より 一町より六尺五寸	一畝 三十歩より	一加 長六尺五寸 廣六寸五分	一毫 長六寸五分 廣六分五厘	一忽 長六分五厘 廣六厘五毛
一畝 一坪より	一步 六尺五寸四方より	一厘 長六寸五分 廣六寸五分	一絲 長六分五厘 廣六分五厘	一微 長六厘五毛 廣六厘五毛

才五諸物輕重之事

金	銀	赤金	鈔
重	重	重	重
百七拾五斤	百四拾月斤	七拾五斤	九拾五斤

天	斤	陸	壹
二端	二百	六	一
一粒	天	凍	貳
一	二	皂	三
一	天	捌	叁
一	二	分	肆
一	一	玖	伍
一	一	拾	六
舟	一	針	七

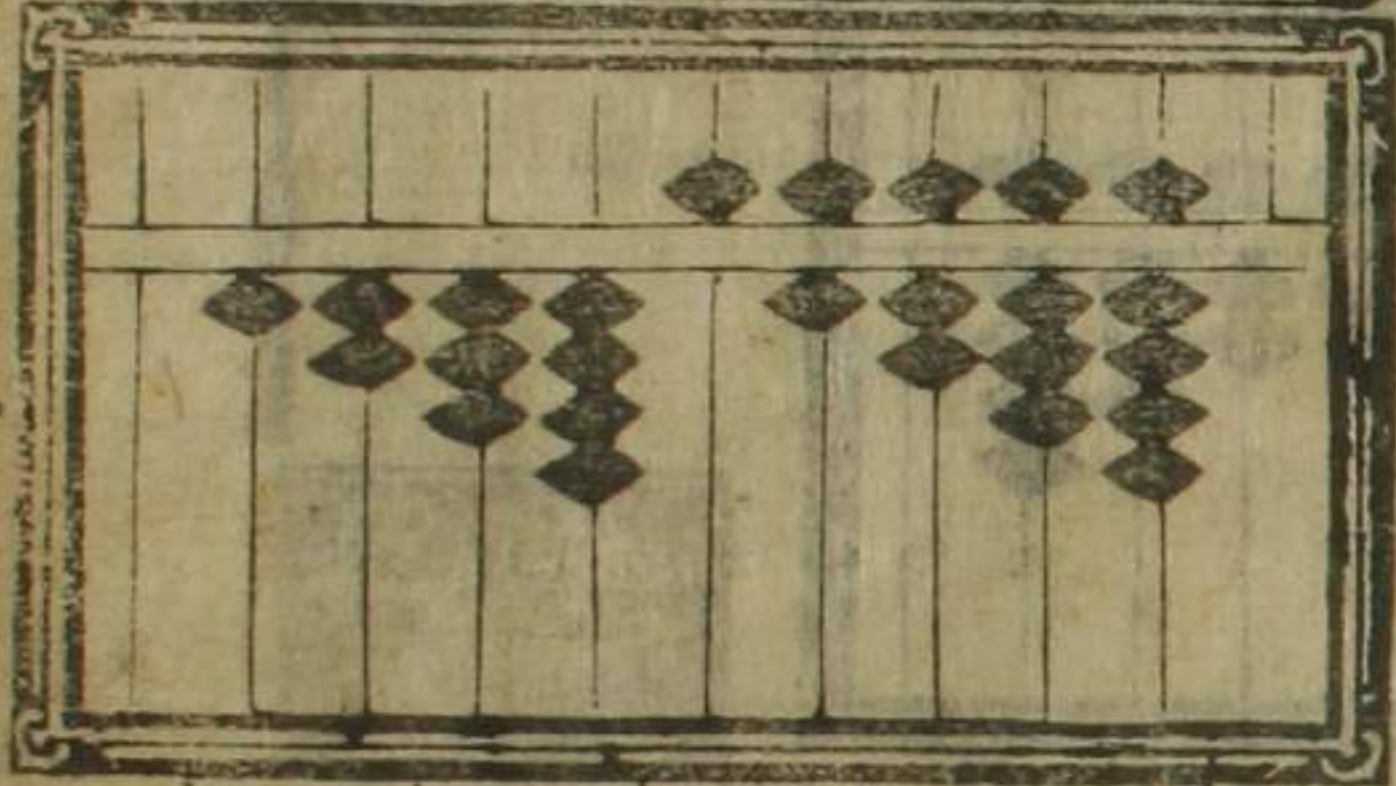
才六 九九之九

三三四	二七六	三三九	二六廿七	四四十六	四九廿六	五八廿五	六六廿六	七七廿九	八八廿九
二二六	二八十六	三而十二	三九廿七	五廿	五七	六六廿	六七廿二	七八廿六	八九廿五
二而八	二五十八	三五十五	四六廿	五七廿	六八廿	七九廿	八〇廿	九一廿	九九廿
三五十一	二六十二	二七十一	二八十八	二九十八	三〇八	三一十	三二五	三三九	三五十一

上卷

世あり	百二格目あり	百二格目あり	百二格目あり	百二格目あり

六一七二八三九四五



八進四十	○二一天作八
八進四十	
六進三十	○二一天作五
六進三十	
四進二十	○二一天作六
二進二十	○二進二十
二進二十	○二一天作五
二進二十	
二一天作五	

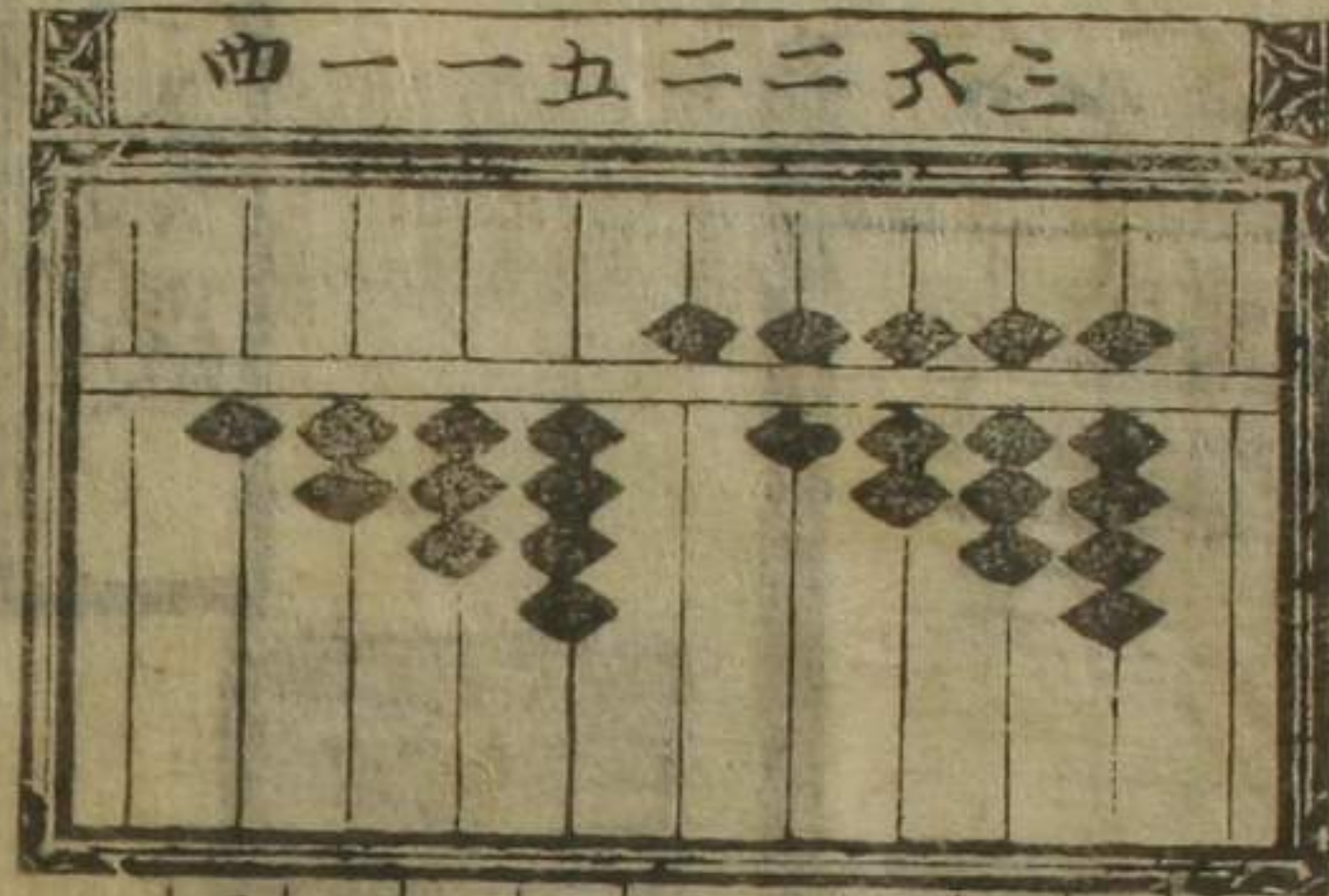
二五
二四
二三
二二
二一
二〇
一九
一八
一七
一六
一五
一四
一三
一二
一一
一〇
〇九
〇八
〇七
〇六
〇五
〇四
〇三
〇二
〇一
〇〇

二刻圖

算題付圖之刻算七才

二一天作五	逢二進一十								
三十一	三三	方十二	逢二進一十						
四一廿二	四二	禿五	四三	禿二	逢而進一十				
五一倍雙二	五二	倍雙	五三	倍雙六	五	倍雙八	逢五進一十		
六一加下四	六二	卅二	六三	禿五	六	禿四	五	半二	
逢六進一十									
七一架三	七二	架六	七三	字二	高	字六	七五	七十一	
七六半四	逢七進一十								
八一架二	八二	架四	八三	架六	八	禿禿	八	字二	
八六半四	逢八進一十	九	禿	架	上	倍	逢九進一十		

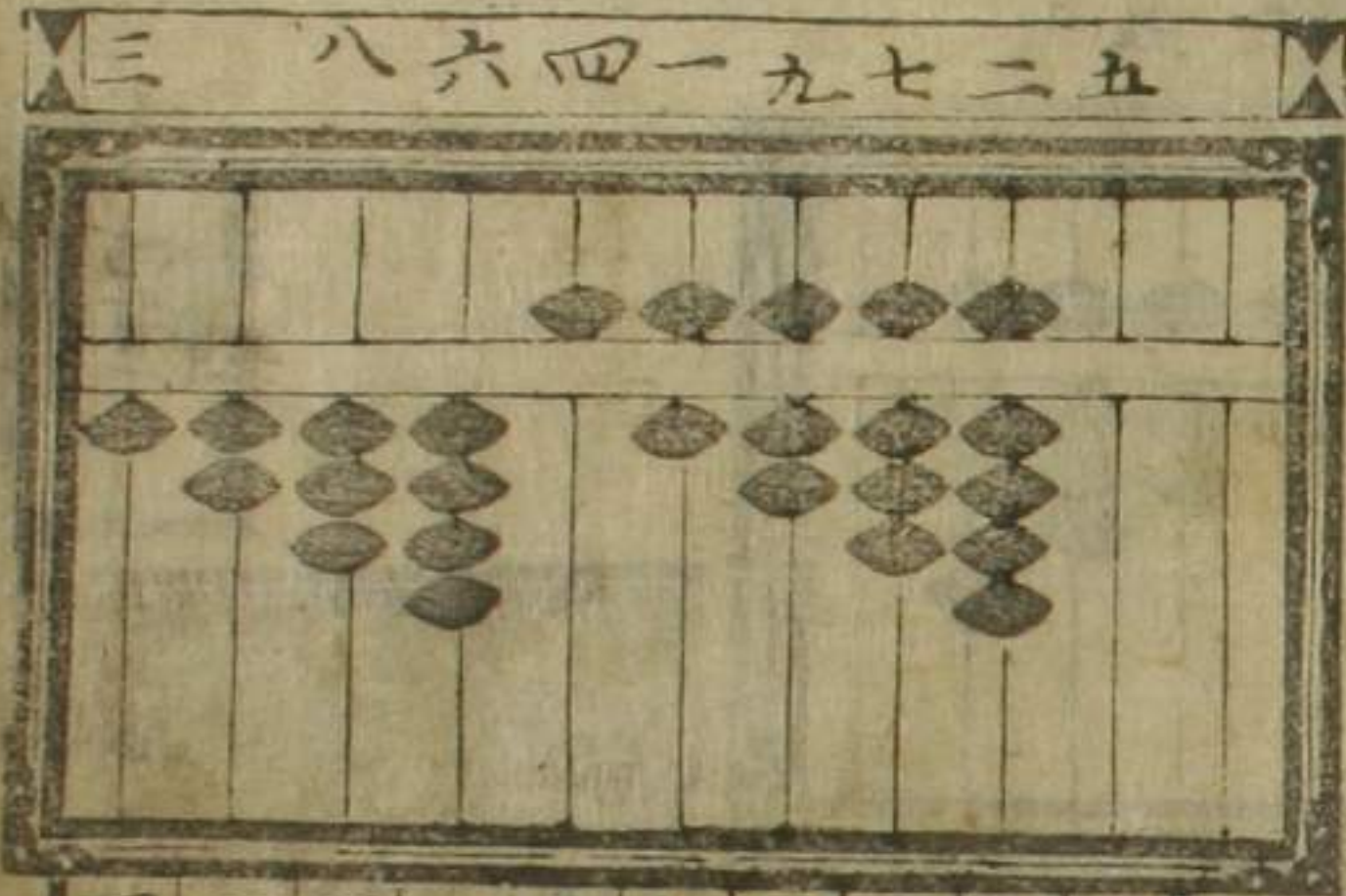
三刻圖



三	二	三
三	六	二
三	二	一
三	進	十

九進三十	九進三十	六進二十	六進二十	六進二十	六進二十	三進十	三進十	三進十	三進十
〇三	〇三	〇三	〇三	〇三	〇三	〇三	〇三	〇三	〇三
九	九	六	六	六	六	三	三	三	三

四刻圖



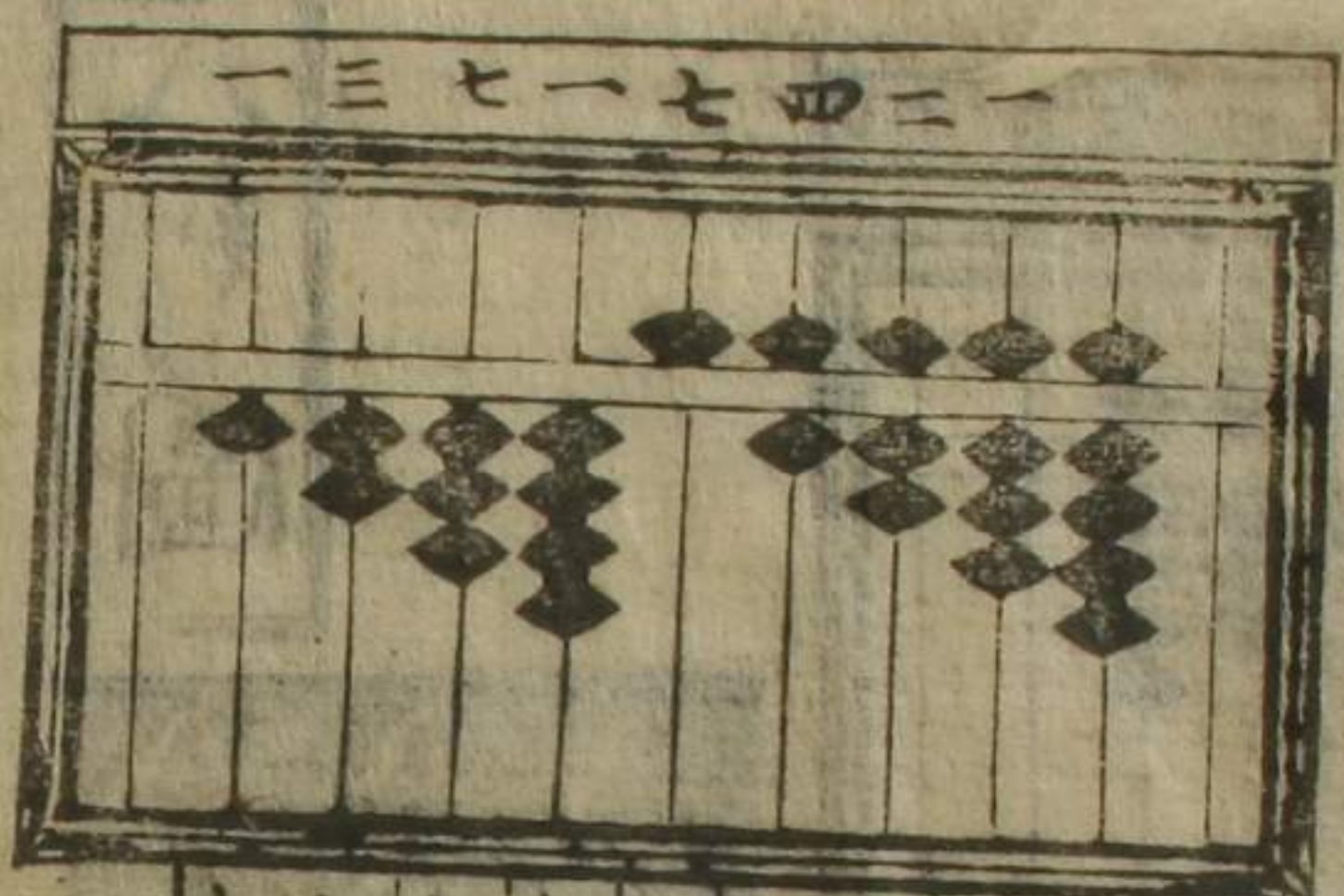
四	二	四
七	天	廿
七	作	二
十二	五	二
		進
		十

四二	八進二十	八進二十	四進二十	四進二十	四進二十	四進二十	四進二十	四進二十	四進二十
〇四	〇四	〇四	〇四	〇四	〇四	〇四	〇四	〇四	〇四
二	八	八	四	四	四	四	四	四	四

上

下

九刻圖



九	九	九
加下三	加下二	加下一
九	九	九
加下六	加下八	加下四
九	九	九
加下十	加下八	加下七

九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千	九進千
九六	九六	九六	九六	九六	九六	九六
九三	九三	九三	九三	九三	九三	九三
九一	九一	九一	九一	九一	九一	九一
加下三	加下三	加下三	加下三	加下三	加下三	加下三
加下六	加下六	加下六	加下六	加下六	加下六	加下六
加下十	加下十	加下十	加下十	加下十	加下十	加下十

同公算之形

あまのたのみにてあつてんゆりぬ
 けふはまをてへりるり

二のよふの教	二のよふの教	二のよふの教	二のよふの教	二のよふの教	二のよふの教	二のよふの教
二一	二一	二一	二一	二一	二一	二一
二進十	二進十	二進十	二進十	二進十	二進十	二進十
三のよふの教	三のよふの教	三のよふの教	三のよふの教	三のよふの教	三のよふの教	三のよふの教
三一	三一	三一	三一	三一	三一	三一
三進十	三進十	三進十	三進十	三進十	三進十	三進十
四のよふの教	四のよふの教	四のよふの教	四のよふの教	四のよふの教	四のよふの教	四のよふの教
四一	四一	四一	四一	四一	四一	四一
四進十	四進十	四進十	四進十	四進十	四進十	四進十
五のよふの教	五のよふの教	五のよふの教	五のよふの教	五のよふの教	五のよふの教	五のよふの教
五一	五一	五一	五一	五一	五一	五一
五進十	五進十	五進十	五進十	五進十	五進十	五進十
六のよふの教	六のよふの教	六のよふの教	六のよふの教	六のよふの教	六のよふの教	六のよふの教
六一	六一	六一	六一	六一	六一	六一
六進十	六進十	六進十	六進十	六進十	六進十	六進十

七のよりの教	七一加下三	七二加下六	七三十二加
	七の十五加	七五廿一加	七六廿加
	七進十		
八のよりの教	八一加下二	八二加下四	八三加下六
	八の天作五	八五十二加	八六十四加
	八七十六加	八進十	
九のよりの教	九一加下二	九二加下二	九三加下三
	九の四加下四	九五加下五	九六加下六
	九七加下七	九八加下八	九進十

第九見一より此圖付けきん

見一無頭作九一 歸一倍二進の二十

心は十一より十九のうへのふよふ時入じし
又百のうへのふよふ時入じし

見二より作九二 返二倍一八の二のうへのふよふ時入じし

又二のうへのふよふ時入じし
又二百のうへのふよふ時入じし

見三より作九三 歸三のうへのふよふ時入じし

是ハ三より九なり
わつし三千のうへのふよふ時入じし

○見也字^ハ作九^カ 帰一倍曲 ^ハ八^ノの^ノの^ノ入^ノ

これの四十一より四十九のうへのおよ割^割時入^入し
西百のうへのおよ千^千此よりふまも七^七右^右こ^こし

○見五^五字^字作九^九 帰一倍^倍 ^ハ八^八の^の入^入し

こまの四十九の^のおとわり又^又五^五百^百の^のうへ^ののおよ
まかして五^五千^千の^のとあるひい^い五^五万^万の^の上^上の^のま^まと割^割し^し同^同か

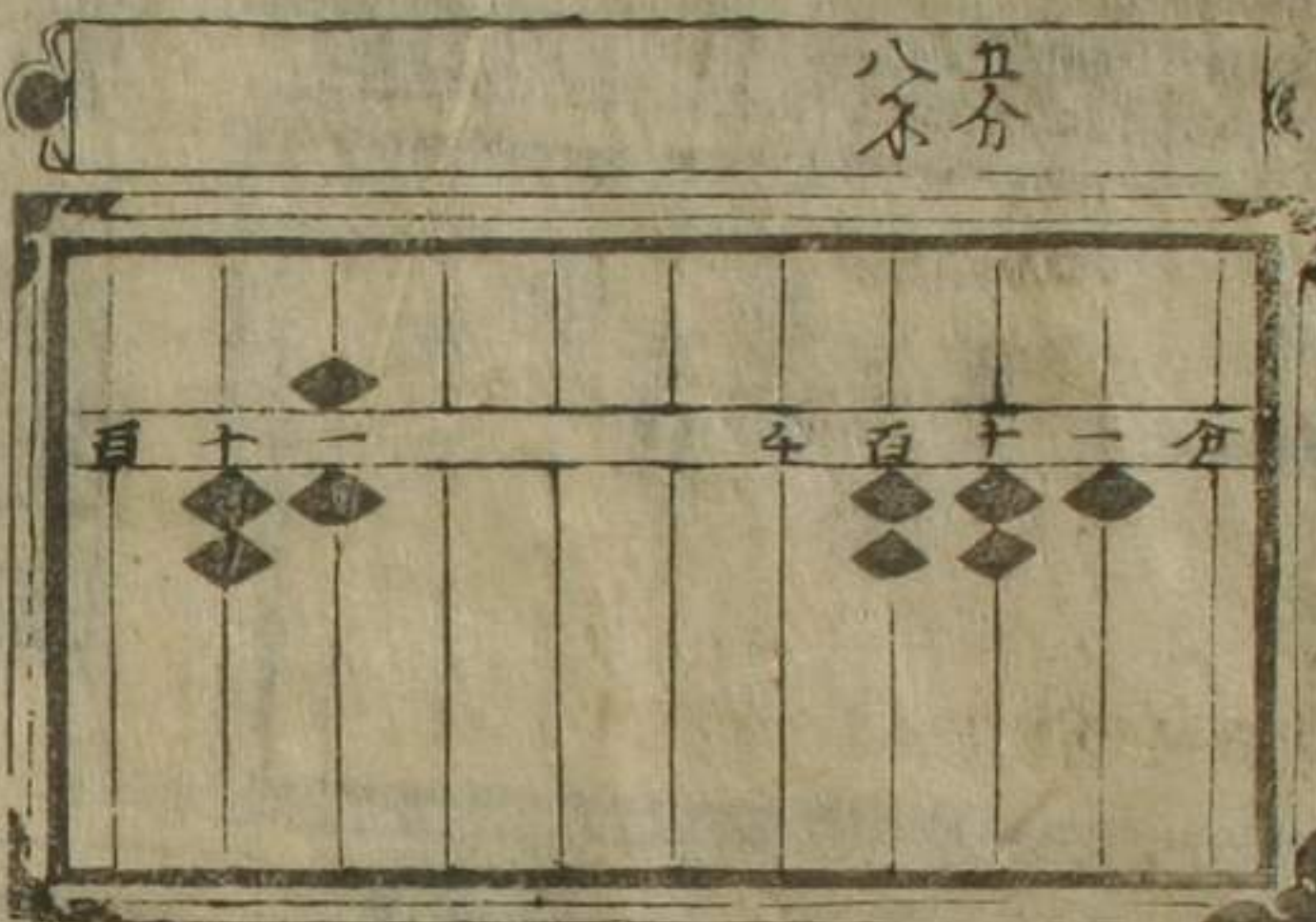
○見六^六字^字作九^九 帰一倍^倍 ^ハ八^八の^の入^入し

是と六^六千^千の^のうへ^のの^のま^まよ^よと^とお^おと^と六^六百^百り^りと^との^のお^およ
まかして六^六千^千の^のと^との^のお^おより^りた^たは^は同^同か^し

○見七^七字^字作九^九 帰一倍^倍 ^ハ八^八の^の入^入し

七^七千^千一^一より七^七千^千九^九ま^まの^のま^まよ^よより^り時^時入^入し^し又
七^七百^百り^りとの^のま^ま七^七千^千の^の上^上の^のま^まよ^よより^り時^時入^入し^し
○見八^八字^字作九^九 帰一倍^倍 ^ハ八^八の^の入^入し
八^八千^千一^一より八^八千^千九^九の^の上^上の^のま^まよ^よより^り時^時入^入し^し
八^八百^百の上^上の^のま^ま八^八千^千の上^上の^のま^まよ^よより^り時^時入^入し^し
○見九^九字^字作九^九 帰一倍^倍 ^ハ八^八の^の入^入し
九^九千^千一^一より九^九千^千九^九の^のう^うへ^のの^のま^まよ^よより^り時^時入^入し^し
九^九百^百の上^上の^のま^ま九^九千^千の上^上の^のま^まよ^よより^り時^時入^入し^し
右^右の^のま^まり^りして^てよ^より^りぬ^ぬよ^よより^り時^時入^入し^し
あ^あら^らん^んよ^よと^とも^もわ^わり^りし^しの^のま^まり^り ^ハ八^八の^の入^入し^しあり

二見



あるひに二百廿五
 廿六
 二系五下ツニぬ

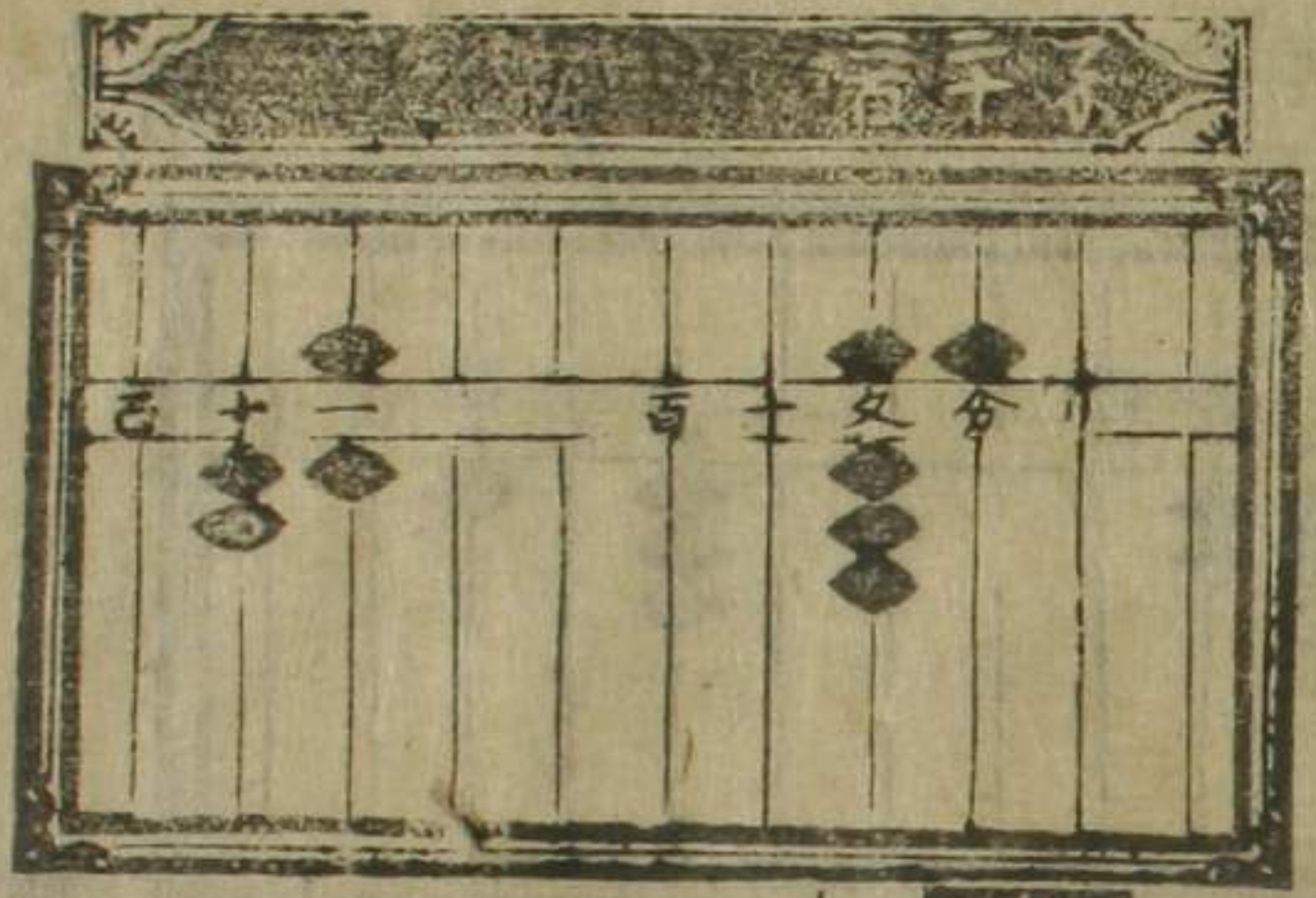
あつた
 見
 二
 倍
 二

これハ二下カサメマのすあろ
 又あるひに二百四十三に二倍
 二千のうへ乃ちあつた又二万七千三
 百廿七は二倍に二万二千六百
 二万七千三
 二万七千三

二倍二	六八十八	二一天作
見二	二	二

九に廿六とをまへ右の二百廿五と垂てまの二百て見二
 廿五作九二とまへ二百目のところを九とまへりて
 二をまへまへ二とまへり九の九曲とつりて九と
 九の六と九の九とつりて九の六九五十四とつりて九
 九の九とつりて九の九とつりて九の九とつりて九の
 内とつりて九の九とつりて九の九とつりて九の九と
 ハツと九乃ち右とつりて八の九とつりて六八十八と
 ひけをあつた十とのところを十とまへり八の九の二の九と
 二一天作五とつりて九の九とつりて九の九とつりて九の
 ちと右の五と五六とつりて九の九とつりて九の九と

ひきん



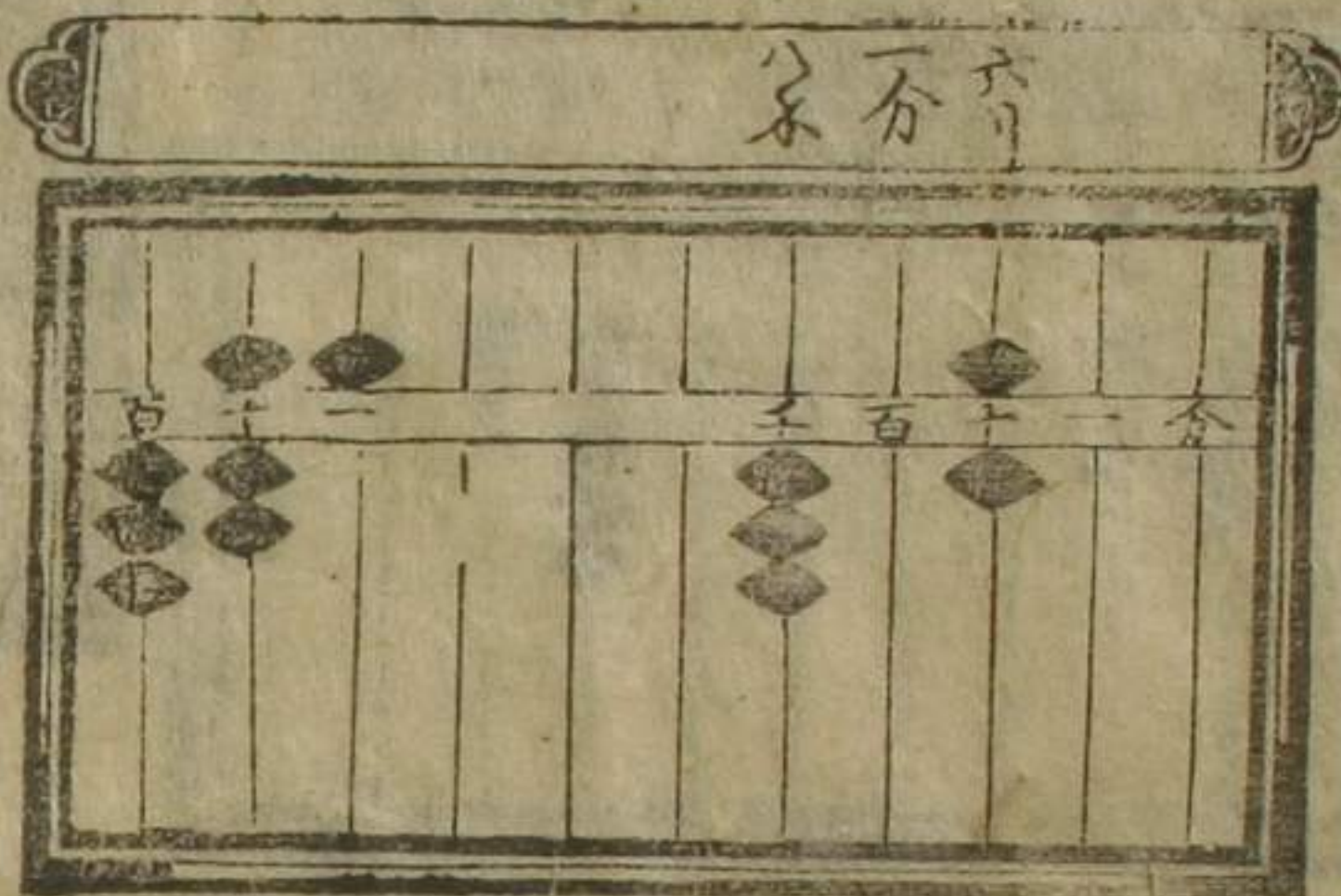
廿六	六八十八
二五	二

あつた
 二
 千
 ち
 あり
 二
 万
 七
 千
 三
 百
 廿
 七

100

100

見三之圖



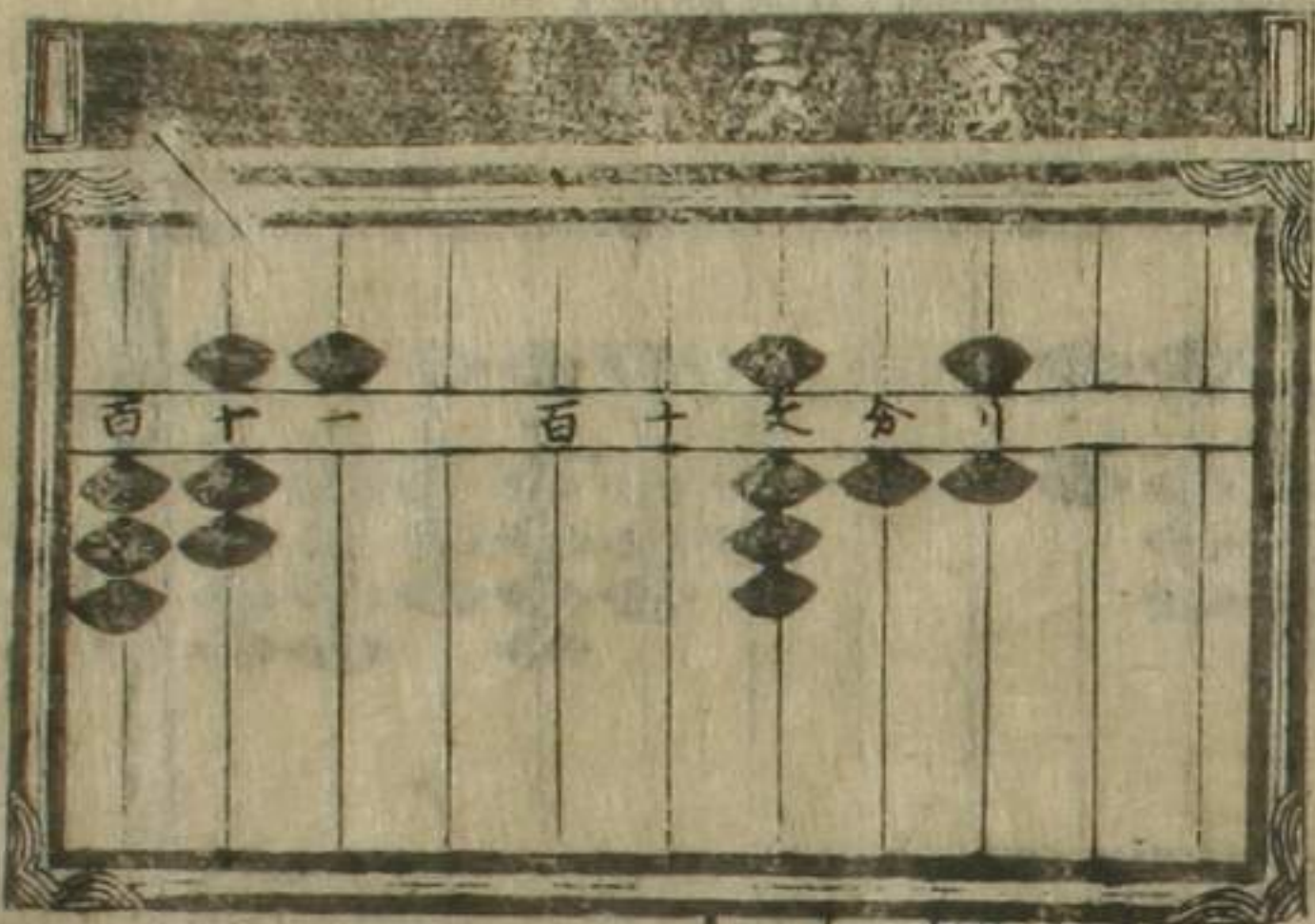
三
百

見三之
倍一
倍之

五八	二	一	六
五八	二	一	六
五八	二	一	六
五八	二	一	六

あるひい
三百七拾五
はきき
三
百
七
拾
五

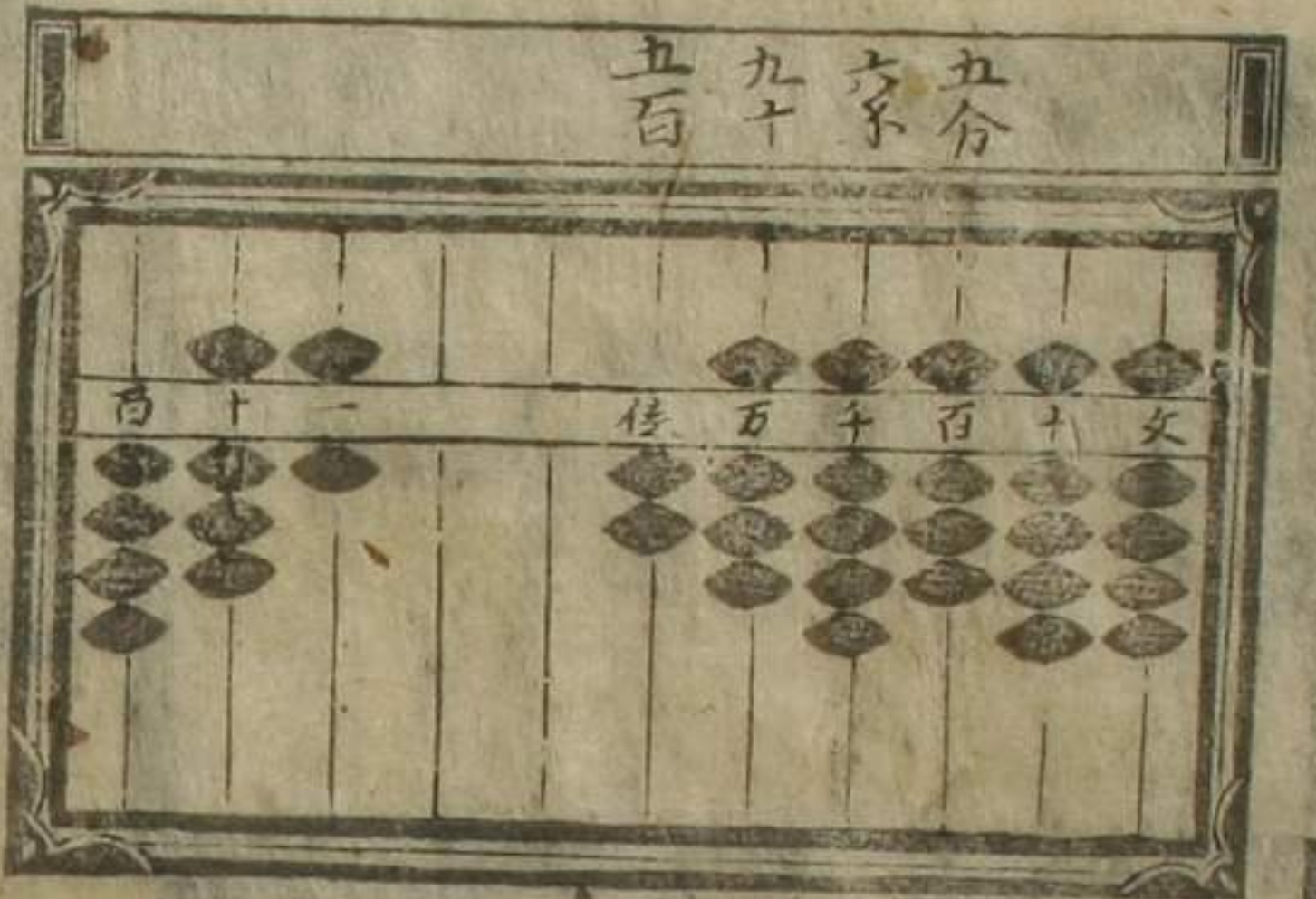
三
百



五六	二	一	六
五六	二	一	六
五六	二	一	六
五六	二	一	六

あるひい
三百七拾五
三
百
七
拾
五

見世之圖

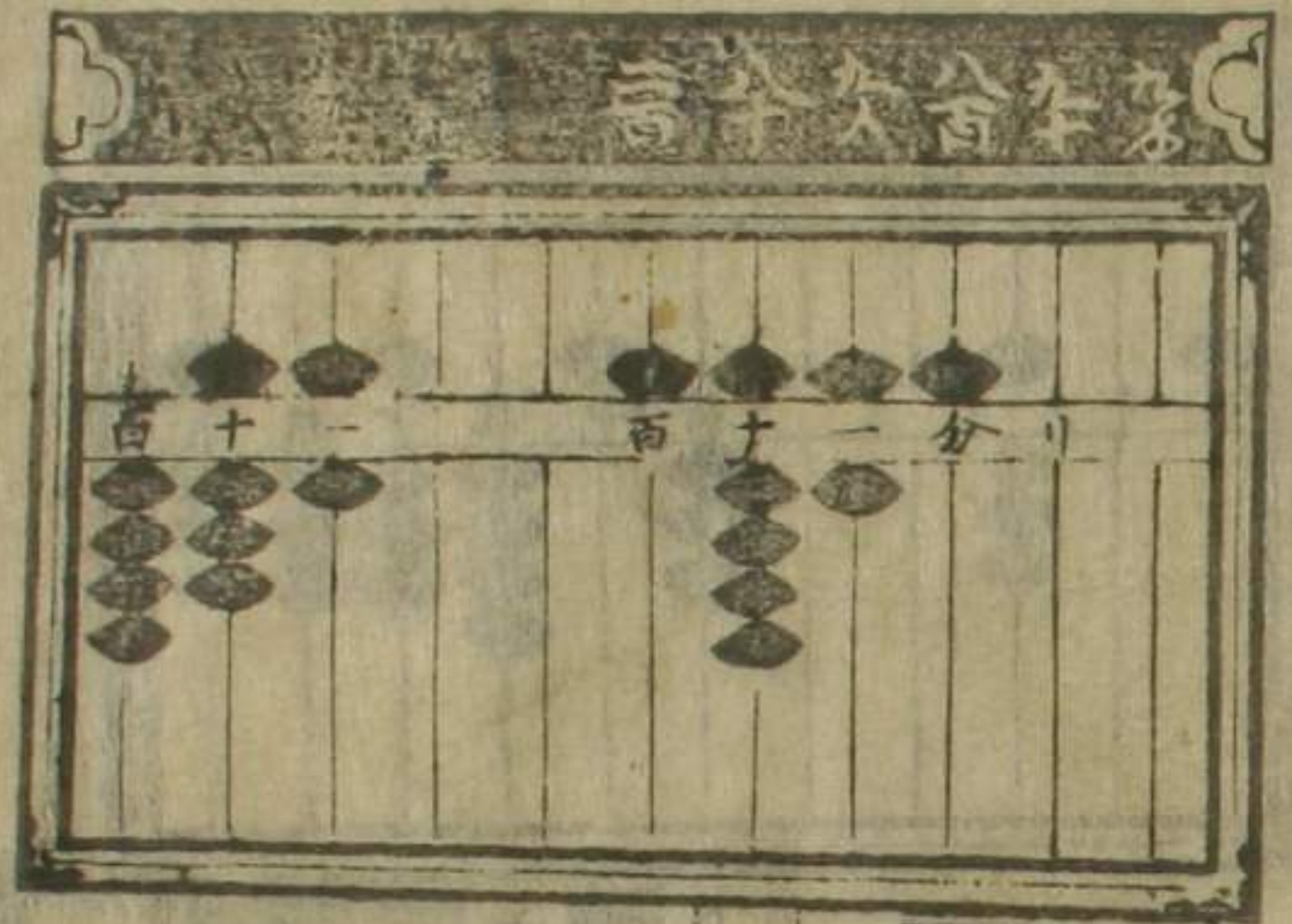


おのりぬ時
見世の作九四
倍一倍

五六 元	五六 元	五六 元	五六 元
五六 元	五六 元	五六 元	五六 元
五六 元	五六 元	五六 元	五六 元
五六 元	五六 元	五六 元	五六 元

ありのい
四百八拾六
五百九千六百

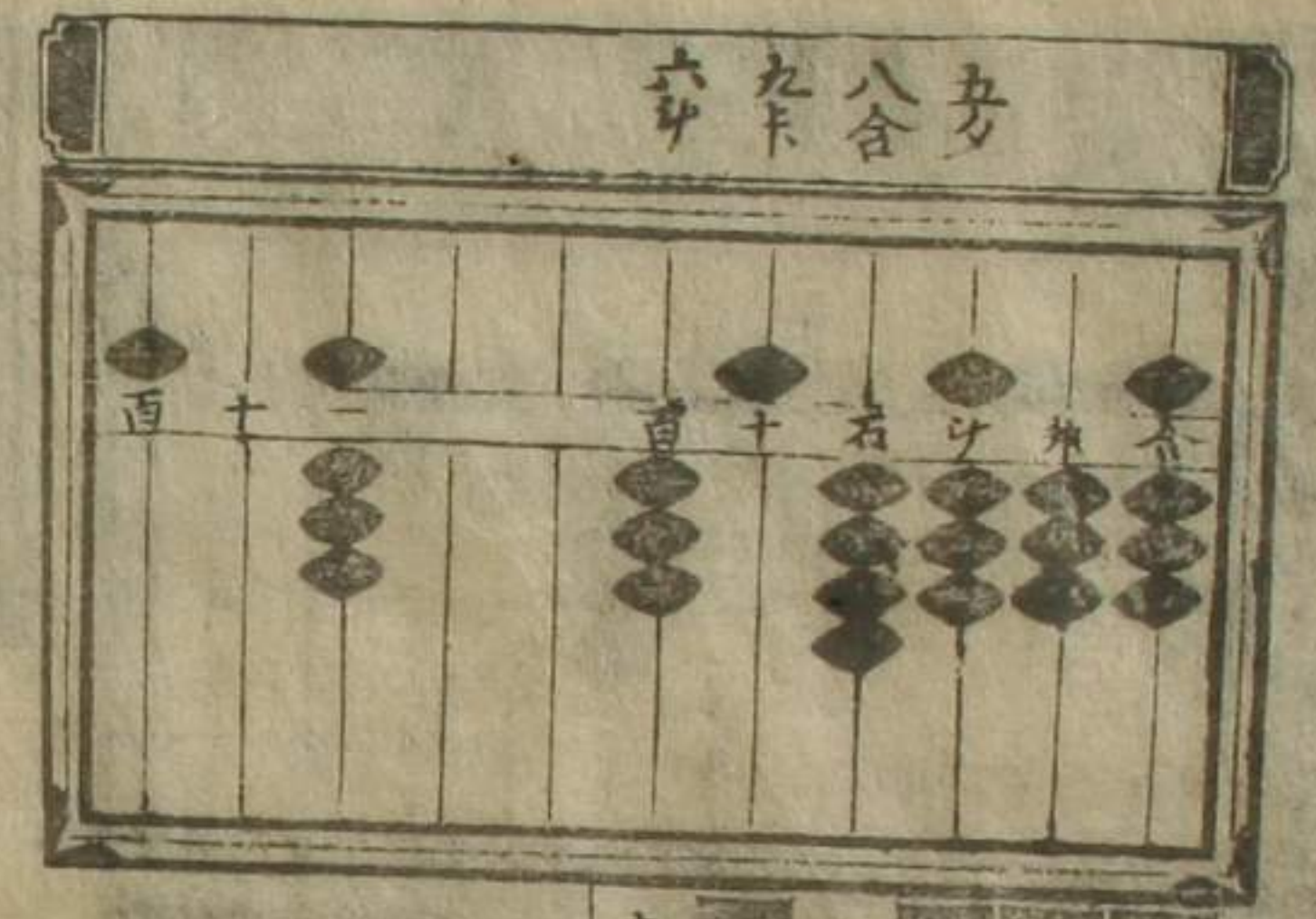
見世



五六 元	五六 元	五六 元	五六 元
五六 元	五六 元	五六 元	五六 元
五六 元	五六 元	五六 元	五六 元
五六 元	五六 元	五六 元	五六 元

ありのい
四百八拾六
五百九千六百

見五之圖

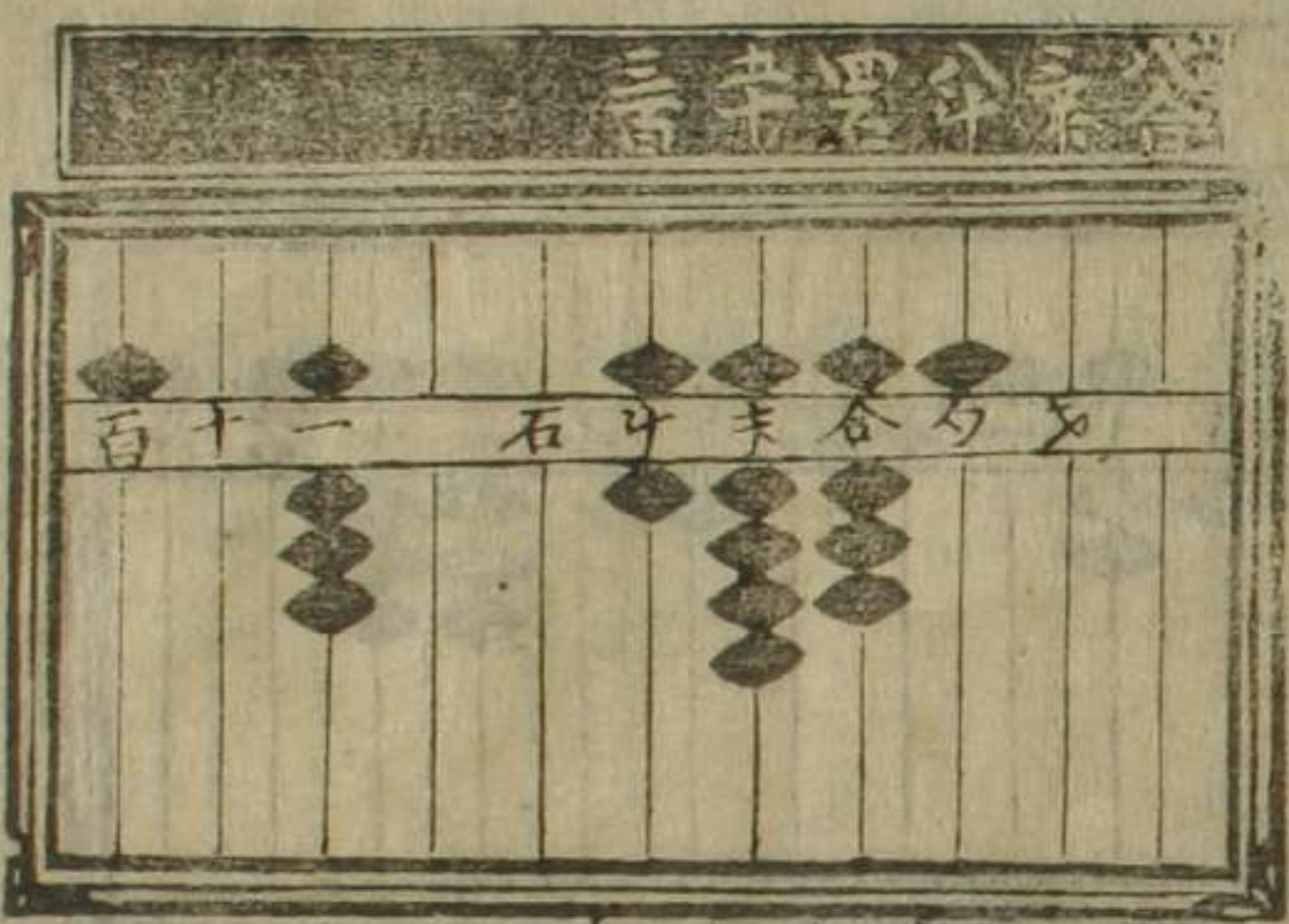


見五之圖
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十

五二倍双六	六八四十八	八九七十二	八八本四	五八四十
見五之圖	見五之圖	見五之圖	五二倍双八	五二倍双四
五二倍双六	六八四十八	八九七十二	八八本四	五八四十
五二倍双六	六八四十八	八九七十二	八八本四	五八四十

米三百五拾四石
 五百八十一石
 六百八十一石
 七百八十一石
 八百八十一石
 九百八十一石
 一千八百八十一石
 二千八百八十一石
 三千八百八十一石
 四千八百八十一石
 五千八百八十一石
 六千八百八十一石
 七千八百八十一石
 八千八百八十一石
 九千八百八十一石
 一万八千八百八十一石
 二万八千八百八十一石
 三万八千八百八十一石
 四万八千八百八十一石
 五万八千八百八十一石
 六万八千八百八十一石
 七万八千八百八十一石
 八万八千八百八十一石
 九万八千八百八十一石
 十万八千八百八十一石

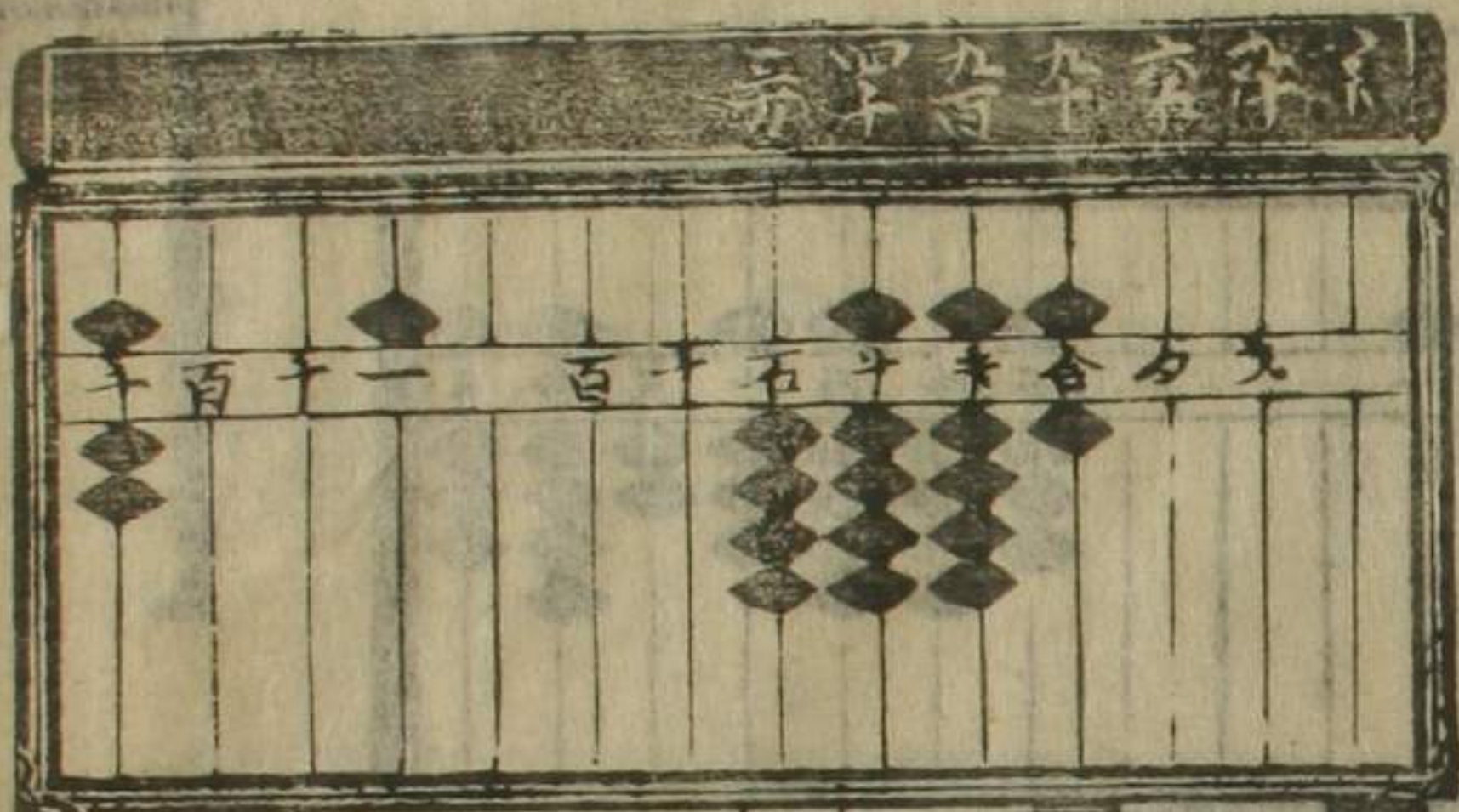
見五之圖



五二倍双六	六八四十八	八九七十二	八八本四	五八四十
見五之圖	見五之圖	見五之圖	五二倍双八	五二倍双四
五二倍双六	六八四十八	八九七十二	八八本四	五八四十
五二倍双六	六八四十八	八九七十二	八八本四	五八四十

正

七



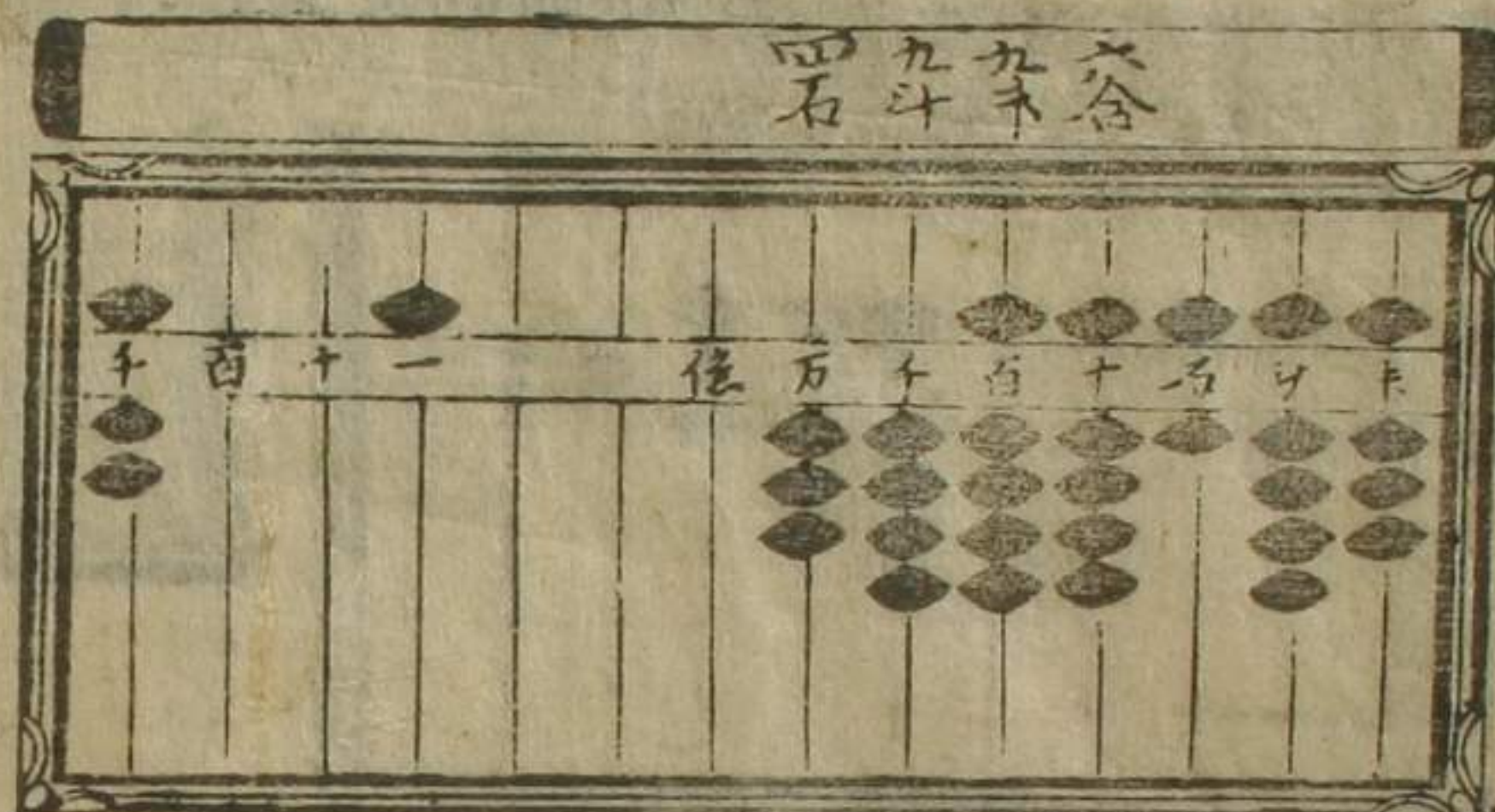
九百九十九

一七五

あつひの四九十九の九十九の九十九
 七十九のあつひの九十九
 三万四千九百九十九の九十九の九十九

五九四十五	五九四十五	五九四十五	五九四十五
七九六十三	七九六十三	七九六十三	七九六十三
七九六十三	七九六十三	七九六十三	七九六十三
七九六十三	七九六十三	七九六十三	七九六十三

一七九



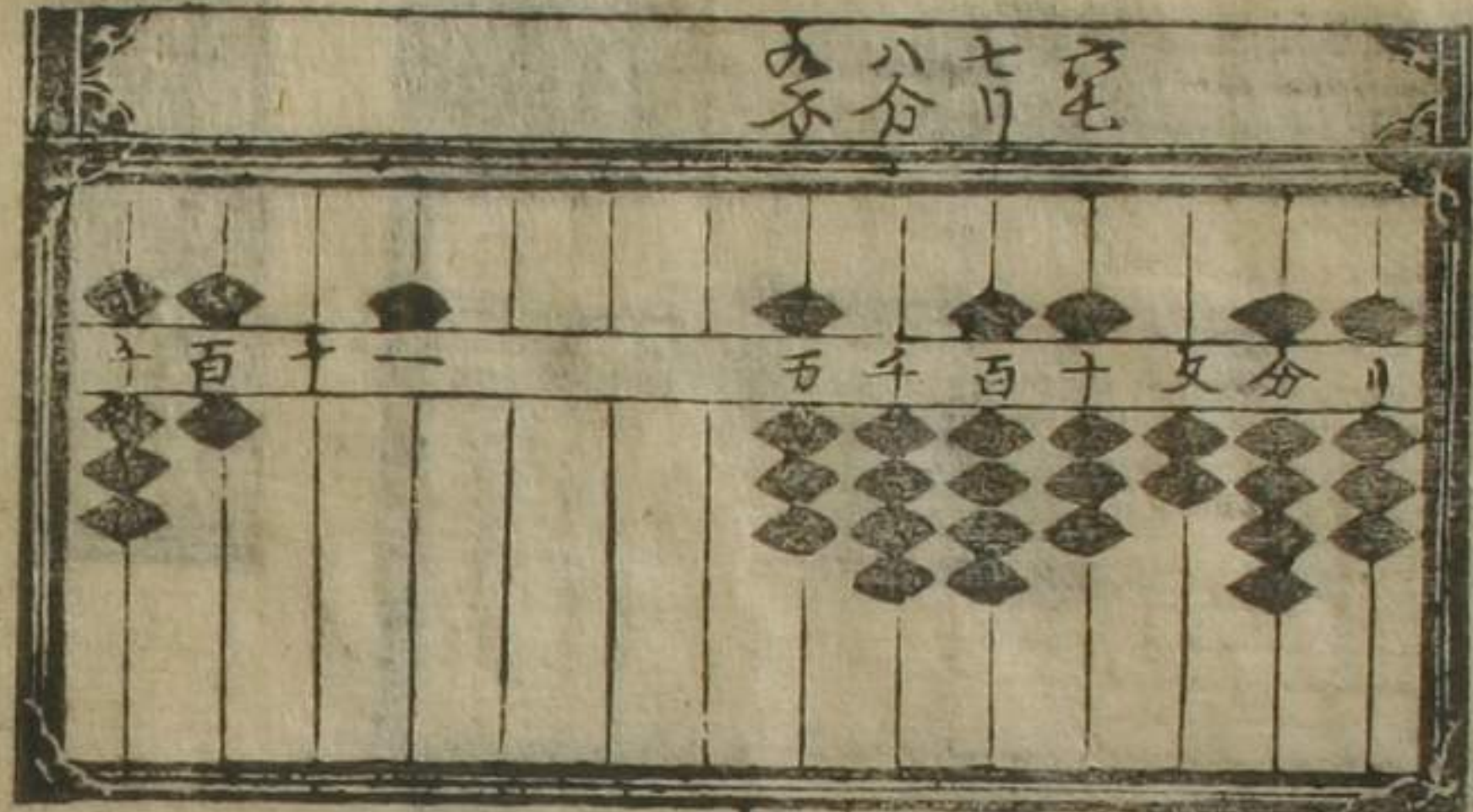
七三十四

あつひの三万四千九百九十九の九十九の九十九
 七十九のあつひの九十九
 三万四千九百九十九の九十九の九十九

七三十四	七三十四	七三十四	七三十四
七三十四	七三十四	七三十四	七三十四
七三十四	七三十四	七三十四	七三十四
七三十四	七三十四	七三十四	七三十四

あつひの七三十四の七三十四の七三十四
 七三十四のあつひの七三十四
 七三十四の七三十四の七三十四

見八之圖

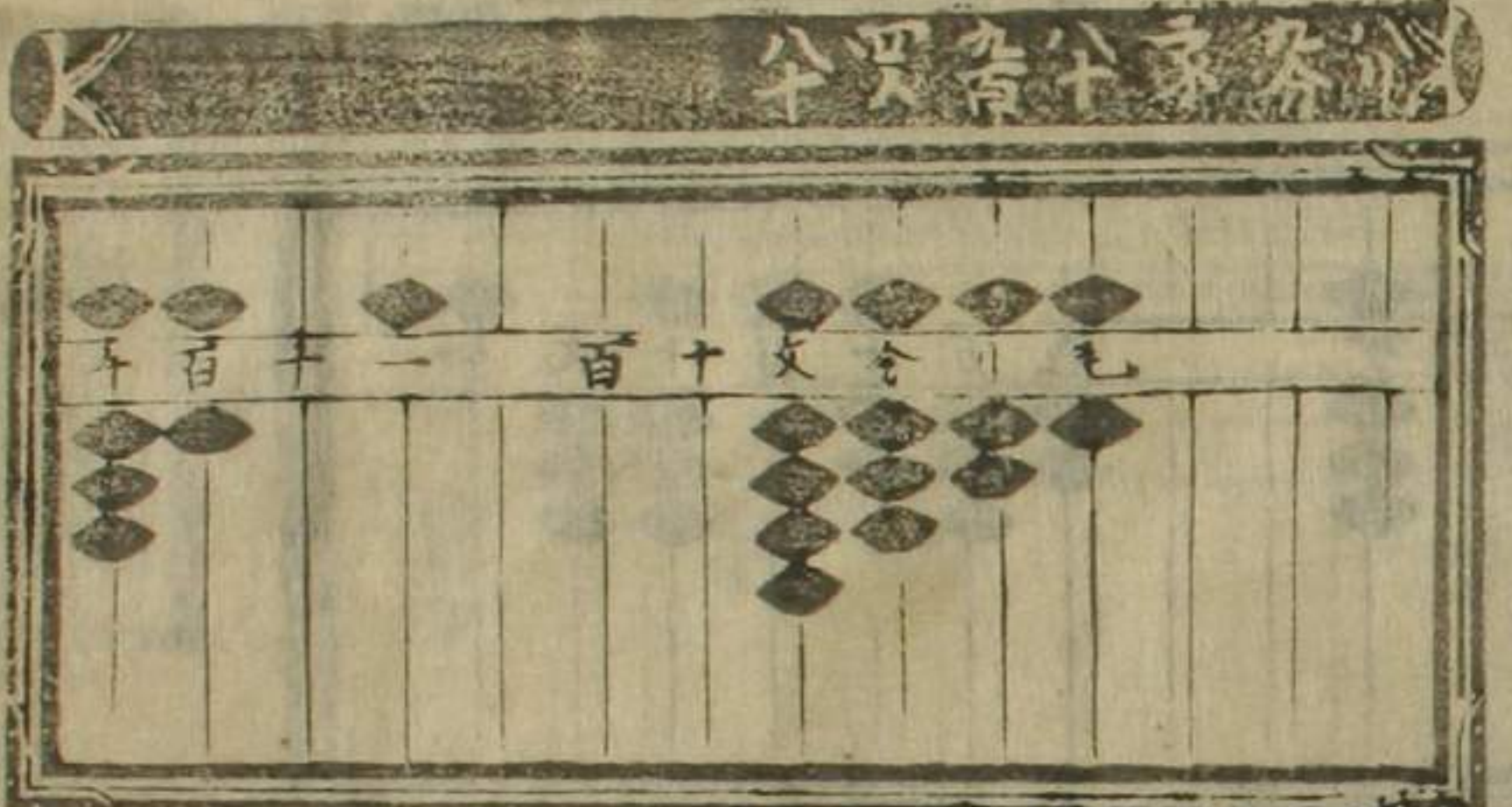


九九九九
見八之図
二倍八

九九四十六引	九八四十四引	五七四十二引	五九四十二引
六九五十四引	六八四十二引	六七四十二引	六六四十二引
八七八十六引	八六四十二引	八五四十二引	八四四十二引

あまのりし拾四乗九百の拾或は九の倍を
八千六百五十一万七千七百七十七
九千八百七十七万七千七百七十七

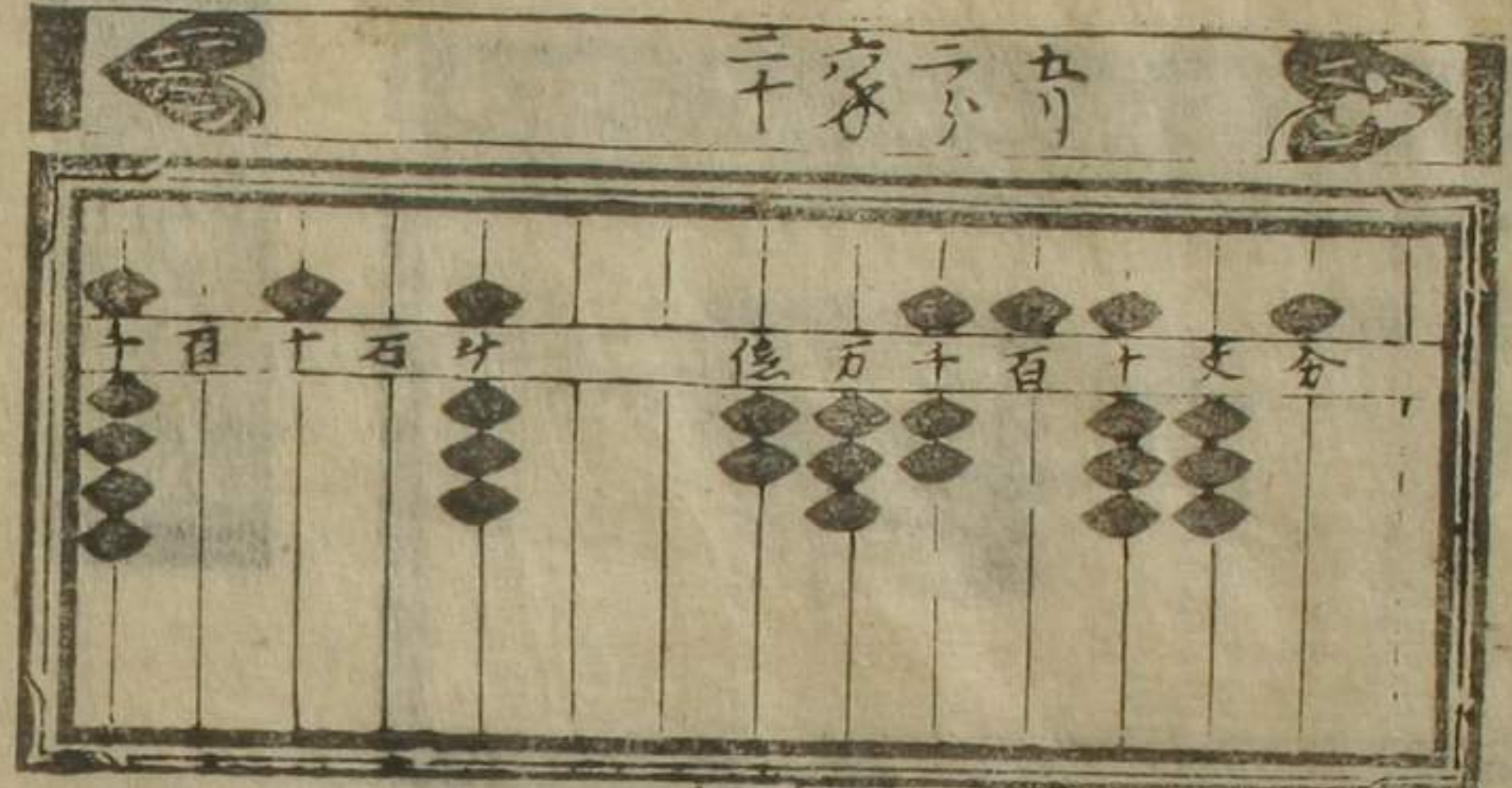
見八之図



六六四十六引	六五四十四引	五七四十二引	五九四十二引
六八四十二引	六七四十二引	六六四十二引	六五四十二引
七八四十二引	七六四十二引	七五四十二引	七四四十二引
八八四十二引	八六四十二引	八五四十二引	八四四十二引
八九七十二引	八九七十二引		

あまのりし九千八百七十七万七千七百七十七
八千六百五十一万七千七百七十七
八千六百五十一万七千七百七十七

見九之圖



九九の得
以九倍九

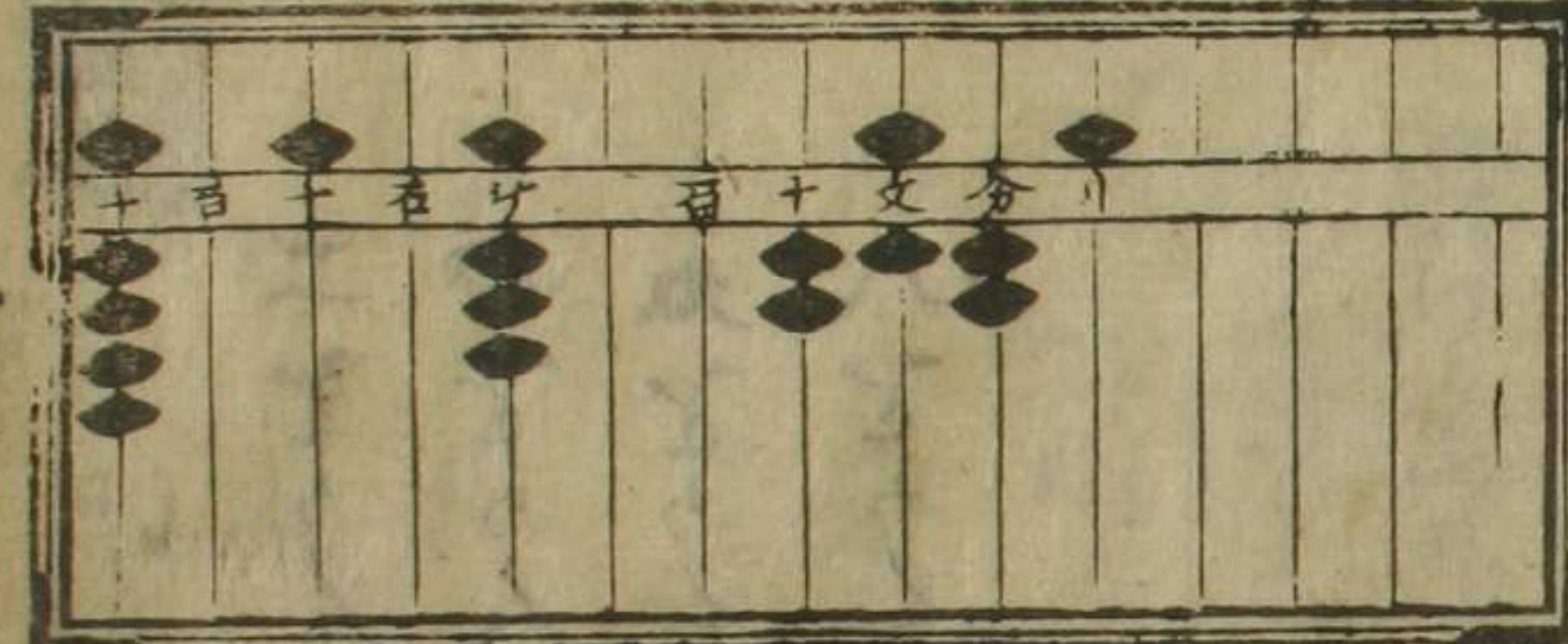
見九の作九
倍一倍九

九二 加下二	二五 十	二八 十六	六八 四十八	二八 十六	六八 四十八
九二 加下二	九二 加下二	二五 十	二五 十	二五 十	二五 十
九二 加下二	九二 加下二	九二 加下二	九二 加下二	九二 加下二	九二 加下二

あるひは百に拾七は五の積家
九千五拾石ハ中ノ七ヶ月の時
石付 五拾石ハ二ヶ月の時

おゆきん

音字表



五八 四十	五六 廿五	五九 四十五	二八 十六	二五 十	二九 十八	六八 四十八	六六 卅	六九 五十四	二八 十六	二五 十	二九 十八
----------	----------	-----------	----------	---------	----------	-----------	---------	-----------	----------	---------	----------

あるひの果石ハ中ノ七ヶ月の時
五千五拾石ハ中ノ七ヶ月の時

1.1111

1.1111

才五

しひて日くらのちうの事

二とくくしい ちよんじのん

四とくくしい ちよんじのん

五とくくしい ちよんじのん

八とくくしい 百ちよんじのん

才十 米うわりの事

米八百拾石ある時 稻子拾石付は
粟二斗二合のやうにむしりて右に米
のあやわしきと向付り

稻子拾八貫七百五石目也

注の米八百拾石と右にむしりて
やうにむしりて二合とむしりて右に米お場
て日水の拾八貫七百五石目とむしりて
〇いあとも米お場てむしりてむしりて

米二千石を積むるは代々積る事六百石
有る米積十石三斗ありしよありしころり三斗

十石三斗三斗米六斗三斗五石

けふの世に此をたふす事米と有るに三斗の
米は三斗の米と三斗の米と三斗の米と三斗の米と
積十石三斗 米三斗の米と三斗の米と三斗の米と三斗の米と
三斗の米と三斗の米と三斗の米と三斗の米と

一石三斗 或千の米ありし

けふの世に此をたふす事米と有るに三斗の米と
三斗の米と三斗の米と三斗の米と三斗の米と

一石三斗 或千の米ありし

ありし米を三斗の米と三斗の米と三斗の米と三斗の米と
三斗の米と三斗の米と三斗の米と三斗の米と

一石三斗 或千の米ありし

けふの世に此をたふす事米と有るに三斗の米と
三斗の米と三斗の米と三斗の米と三斗の米と

一石三斗 或千の米ありし

けふの世に此をたふす事米と有るに三斗の米と
三斗の米と三斗の米と三斗の米と三斗の米と

上米 石付 二十石五斗五升のさうじ
 中米 石付 廿石五斗五升のさうじ
 下米 石付 廿石五斗五升のさうじ
 餅米 石付 廿石五斗五升のさうじ
 大豆 石付 十石五斗五升のさうじ
 とくろく或百十石五斗五升のさうじ
 五ツツりとういし付のさうじのまじり
 まじり
 まじり

上米 石七斗三升五合
石七斗三升五合の
 代米

代米

中米 石七斗三升五合
石七斗三升五合の
 代米

代米

下米 石七斗三升五合
石七斗三升五合の
 代米

代米

餅米 石七斗三升五合
石七斗三升五合の
 代米

代米

大豆 石七斗三升五合
石七斗三升五合の
 代米

代米

浪五合二百石

注よ五ツツり此お堀の代米合百廿石あり

右二百石家分ると百廿石家にして日毎討り
まゝ廿石家分るとして日毎討り

○又武智十石家分るとして日毎討り
いふのまゝにして百廿石家分るとして日毎討り

上米 石付 廿七石五斗六升

中米 石付 廿七石五斗六升

下米 石付 廿七石五斗六升

今右米二百石家分るとして日毎討り上中下此米
の付上米より中米より一斗いより中米より
下米より又一斗いより下米より何れも同

上米 石付 廿七石五斗六升

代米 廿七石五斗六升

中米 石付 廿七石五斗六升

代米 廿七石五斗六升

下米 石付 廿七石五斗六升

代米 廿七石五斗六升

張言合武智十石家分るとして日毎討り

計上米の代米といふ名をうんせ七石五斗
と下米中米の代米といふ名をうんせ七石五斗
右へ加へ下米の代米といふ名をうんせ七石五斗

と危かへ合百七拾二家子まをそほく
右みぎに武首格ぶくわの家いへつと日ひのひ上かみ東あづま石いし三さん斗と
東あづま石いし安やす力ちから多おほく三さん斗と中なかと下したと上かみ東あづま
又また一いち斗といいつつまますすと

才さい士し一いち傷やうままわわ一いち此こ事こと

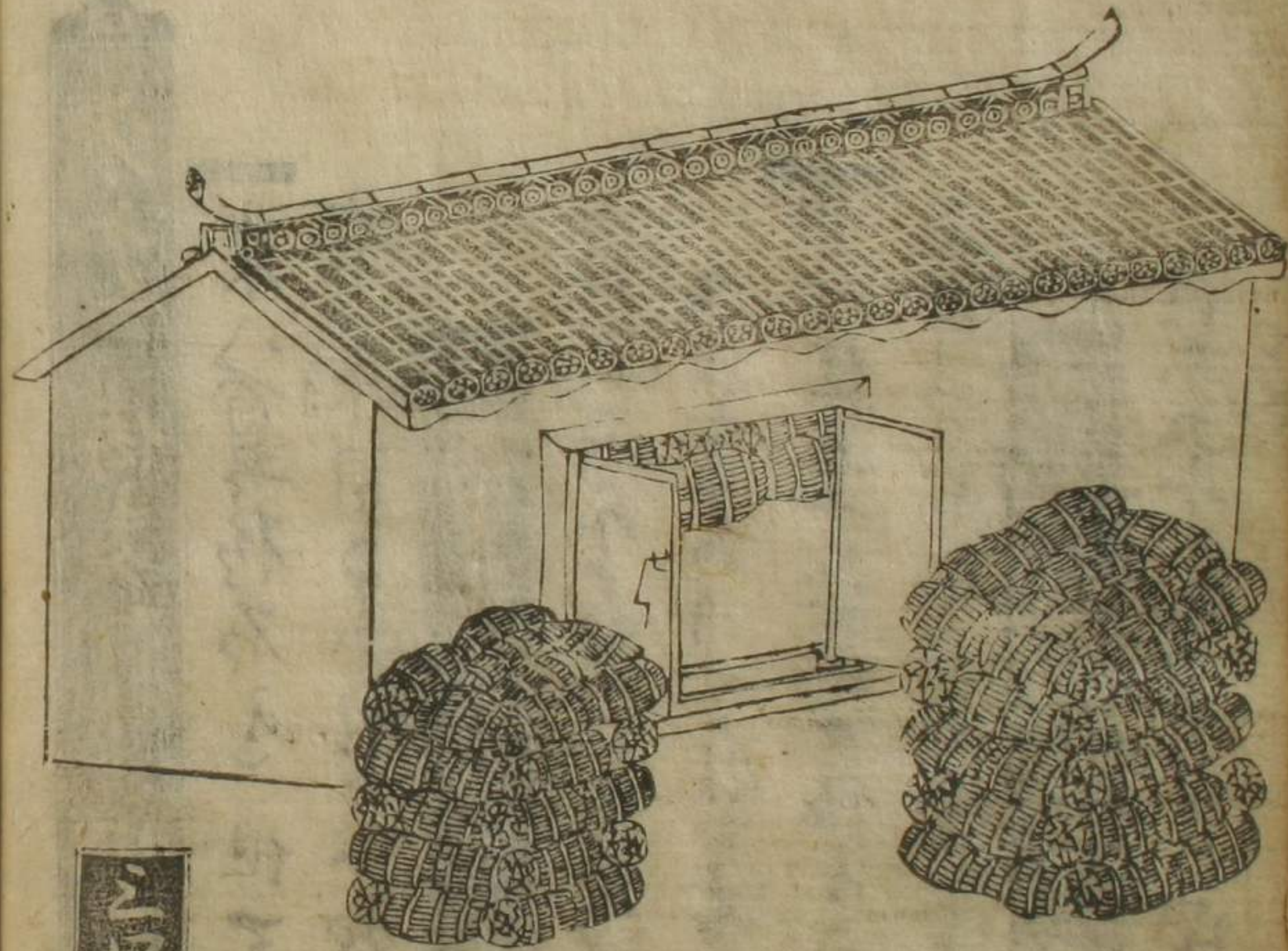
米こめ八はち斗と五ご拾じゅう石いし也なり但たゞ石いし斗と三さん斗と四よ斗と人ひとたりなり也なり
右みぎにみぎ目め石いし斗と三さん斗と四よ斗とにに奴やつ多おほく三さん斗と四よ斗と也なり

八はち斗と五ご拾じゅう石いし也なり

け小こきき石いしと危かにに三さん斗と五ご拾じゅう石いし也なり
九く斗と七しち石いしありあり一いち斗と七しち石いしと右みぎにみぎ八はち斗と五ご拾じゅう石いし也なり
一いち斗と七しち石いし五ご拾じゅう石いし三さん斗と五ご拾じゅう石いし也なり斗と七しち石いしと右みぎにみぎ八はち斗と五ご拾じゅう石いし也なり
石いし斗と七しち石いしと右みぎにみぎ八はち斗と五ご拾じゅう石いし也なり

武ぶ首くわい格かく八はち斗と五ご拾じゅう石いし也なり

け小こ五ご斗と三さん斗と七しち石いし也なり斗と七しち石いしと右みぎにみぎ八はち斗と五ご拾じゅう石いし也なり



花の内、巾着袋
 合、六百俵入、
 〆、此内、巾着袋
 合、六百俵入、
 花の内、三斗、系俵
 合、六百俵入、
 右、巾着袋、俵、三斗、系俵、
 〆、此内、巾着袋、俵、三斗、系俵、
 〆、此内、巾着袋、俵、三斗、系俵、
 〆、此内、巾着袋、俵、三斗、系俵、

三斗、系俵、六百、目、也

○巾着袋、六百、目、也、右、系俵、三斗、系俵、
 〆、此内、巾着袋、俵、三斗、系俵、

花、六百、目、也

○巾着袋、六百、目、也、右、系俵、三斗、系俵、
 〆、此内、巾着袋、俵、三斗、系俵、

三斗、系俵、六百、目、也

○三斗、系俵、六百、目、也、右、系俵、三斗、系俵、
 〆、此内、巾着袋、俵、三斗、系俵、

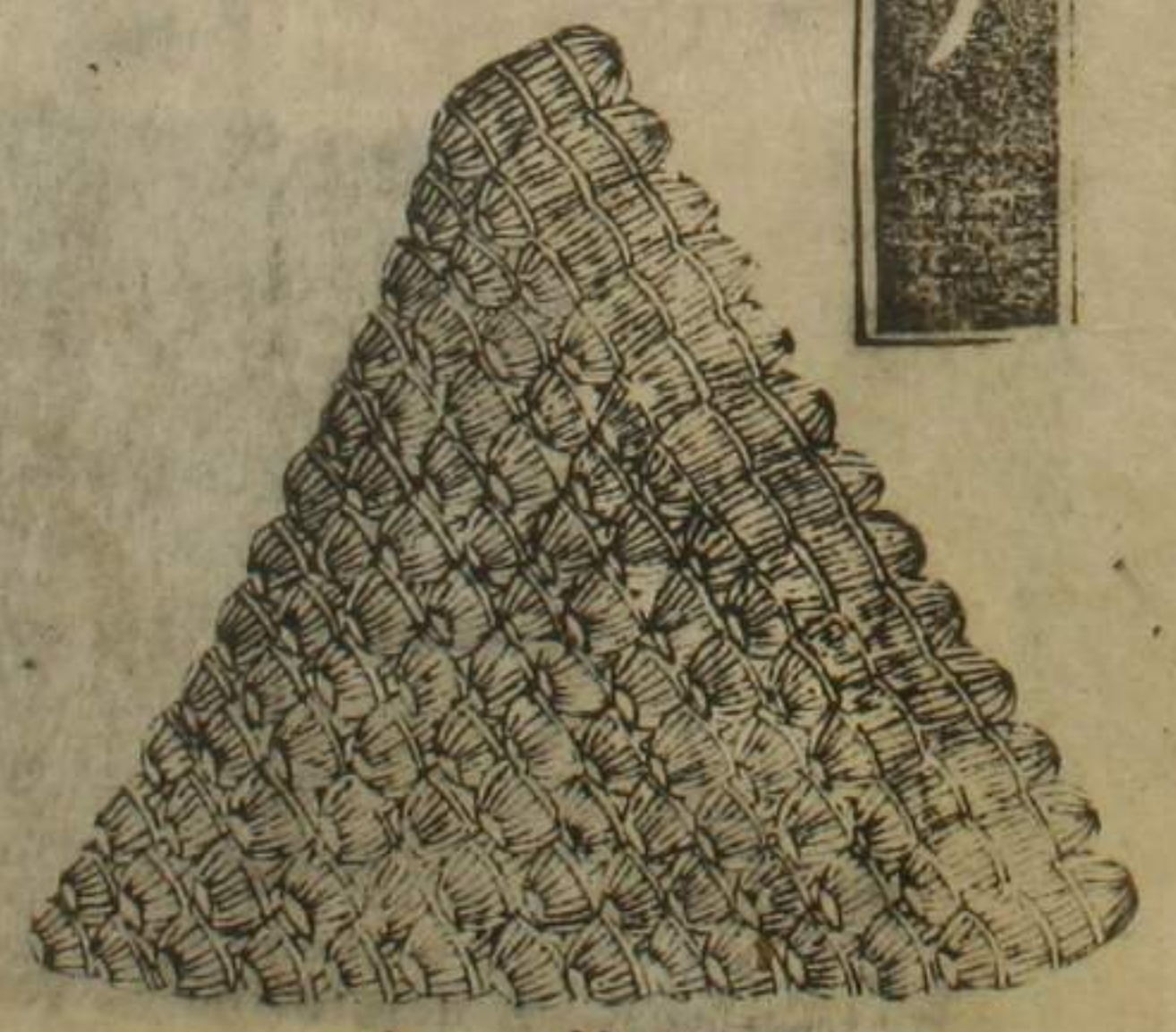
三斗半にせよはら十五とぬけすのりまておこ
七貫の首目とよまら

混五貫の首目とよまら

この混合拾九貫五首目と

○ 十三寸きぎんのす

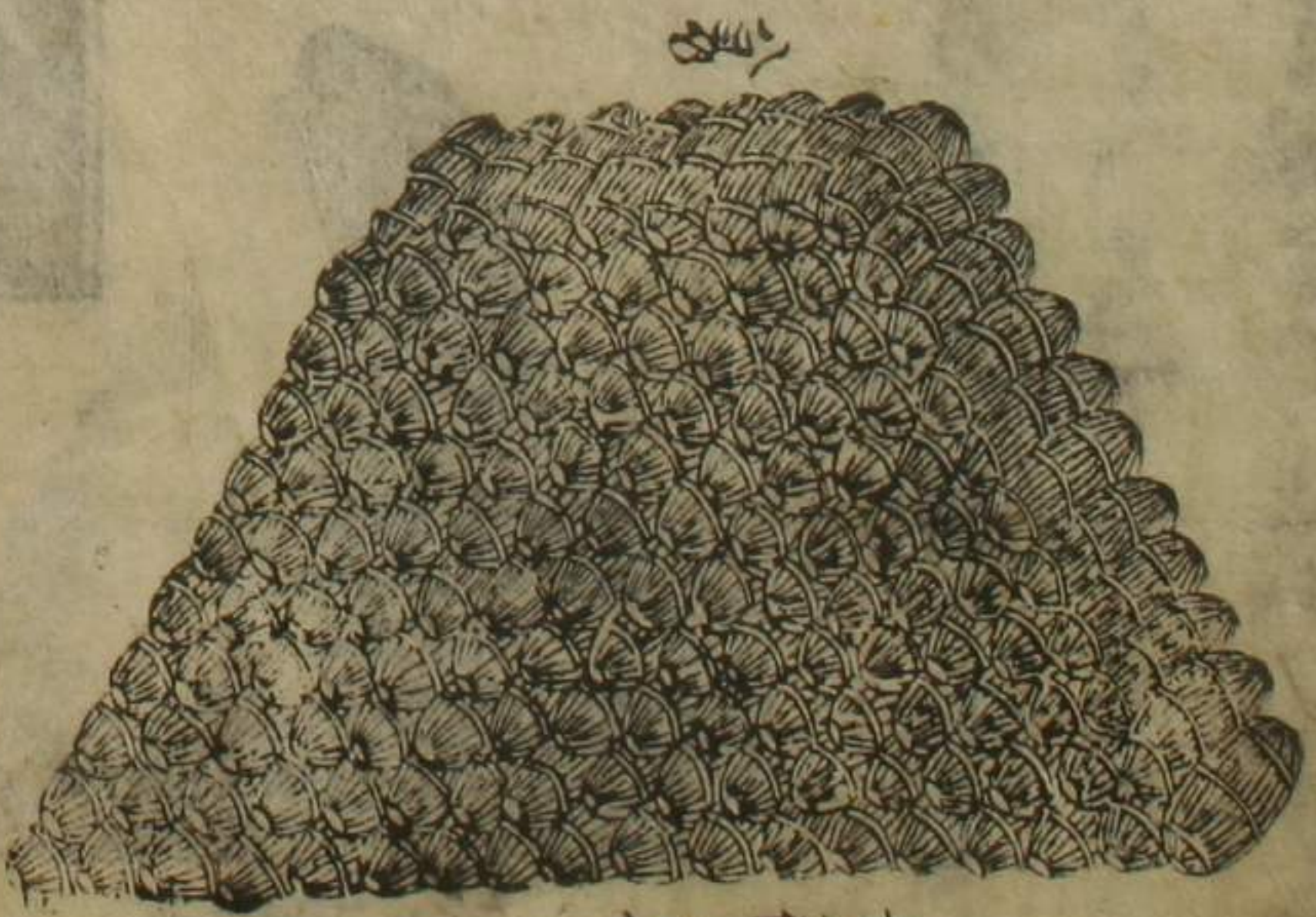
○ けは依敷九拾き物



十三寸きぎん

はらりのか十三のようとのりみか
はらりの十三表は一表くまの時は十四表は
こはと二のよまら七表はぬと右の十三倍
うらぬにか十一表とあ

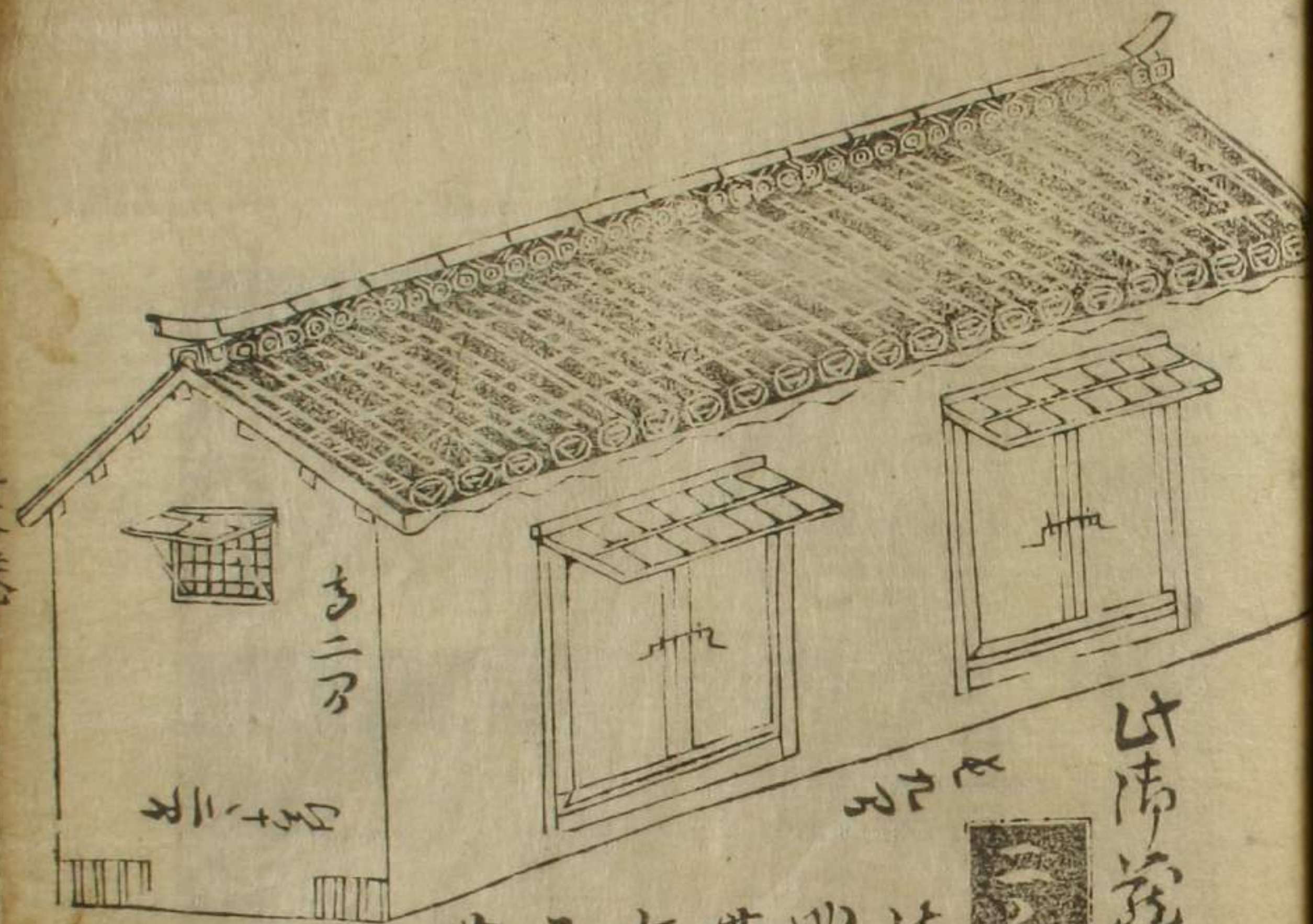
○百四拾三條あり



十徳笠

げりきりれえ十の表をひらきみきりきりきり
 さそ丸の十の表よりうへへ入るの表をくへへ入る時
 廿ちあきりうへへ入るれとこへはわらわら十の表より
 かりたりの

又右の十の表より一表より入る時十九の表より
 は内より入るの表より八の表より時廿七の表より
 あら丸の十の表よりうへへ入る百四十の表より
 あり



け清院より俵を不り入をといふ所

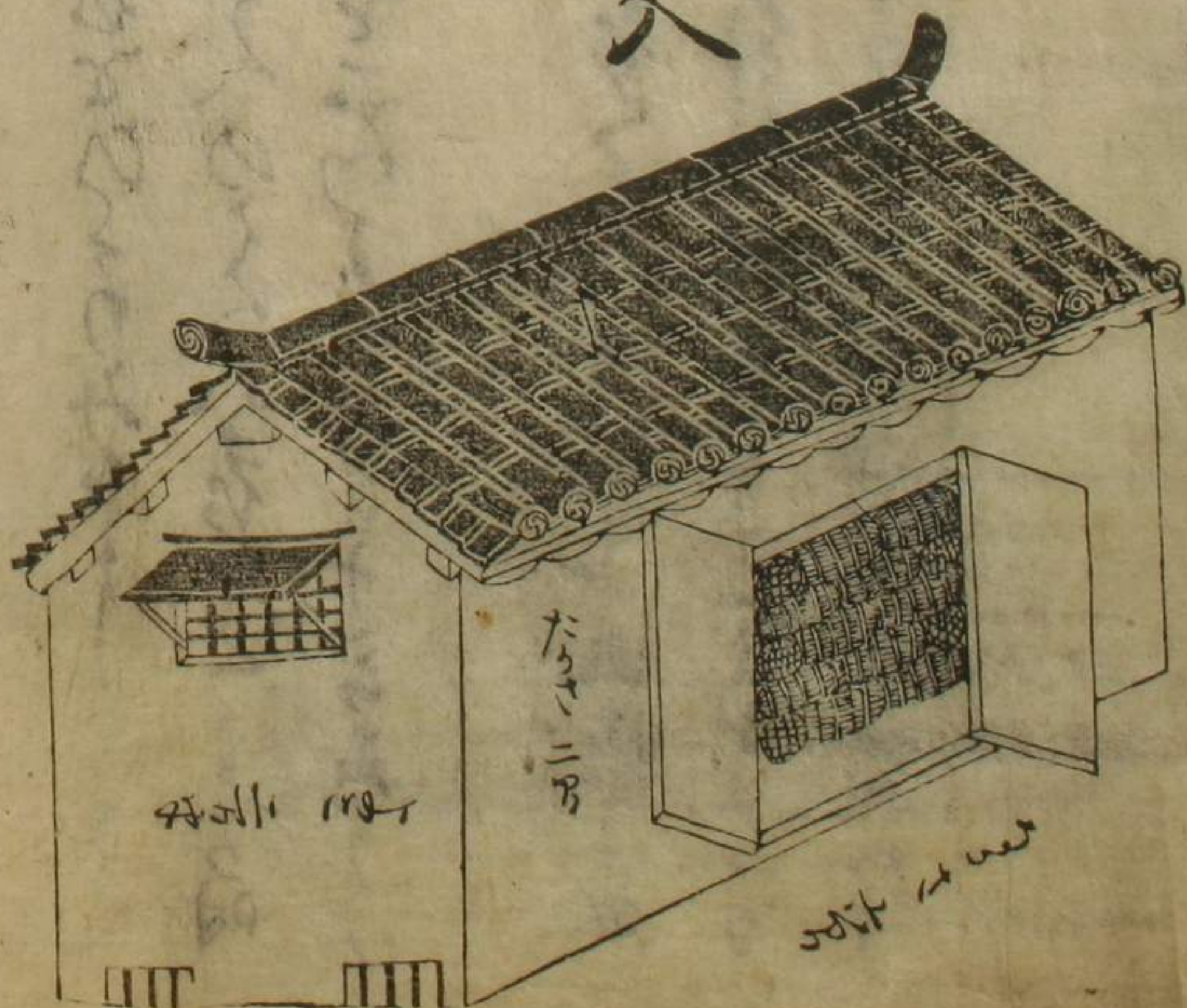
二万石の俵を不り入をといふ所

けよ二万石より二万石より
 四坪より五坪は七坪九坪より
 十坪十一坪十二坪十三坪
 十四坪十五坪十六坪十七坪
 十八坪十九坪二十坪二十一坪
 二十二坪二十三坪二十四坪
 二十五坪二十六坪二十七坪
 二十八坪二十九坪三十坪
 三十一坪三十二坪三十三坪
 三十四坪三十五坪三十六坪
 三十七坪三十八坪三十九坪
 四十坪四十一坪四十二坪
 四十三坪四十四坪四十五坪
 四十六坪四十七坪四十八坪
 四十九坪五十坪五十一坪
 五十二坪五十三坪五十四坪
 五十五坪五十六坪五十七坪
 五十八坪五十九坪六十坪
 六十一坪六十二坪六十三坪
 六十四坪六十五坪六十六坪
 六十七坪六十八坪六十九坪
 七十坪七十一坪七十二坪
 七十三坪七十四坪七十五坪
 七十六坪七十七坪七十八坪
 七十九坪八十坪八十一坪
 八十二坪八十三坪八十四坪
 八十五坪八十六坪八十七坪
 八十八坪八十九坪九十坪
 九十一坪九十二坪九十三坪
 九十四坪九十五坪九十六坪
 九十七坪九十八坪九十九坪
 百坪

分十三

たきしめ入はりのり

○千八拾石入



○舟十部 せにうりうへの事

ききくく 舟根十の事の時 舟舟せにありけり

○フキ。 舟十部 ありけり

はふ石の音舟とよき舟の事にてしはしききき
 舟十部 ありけり

一 又 舟

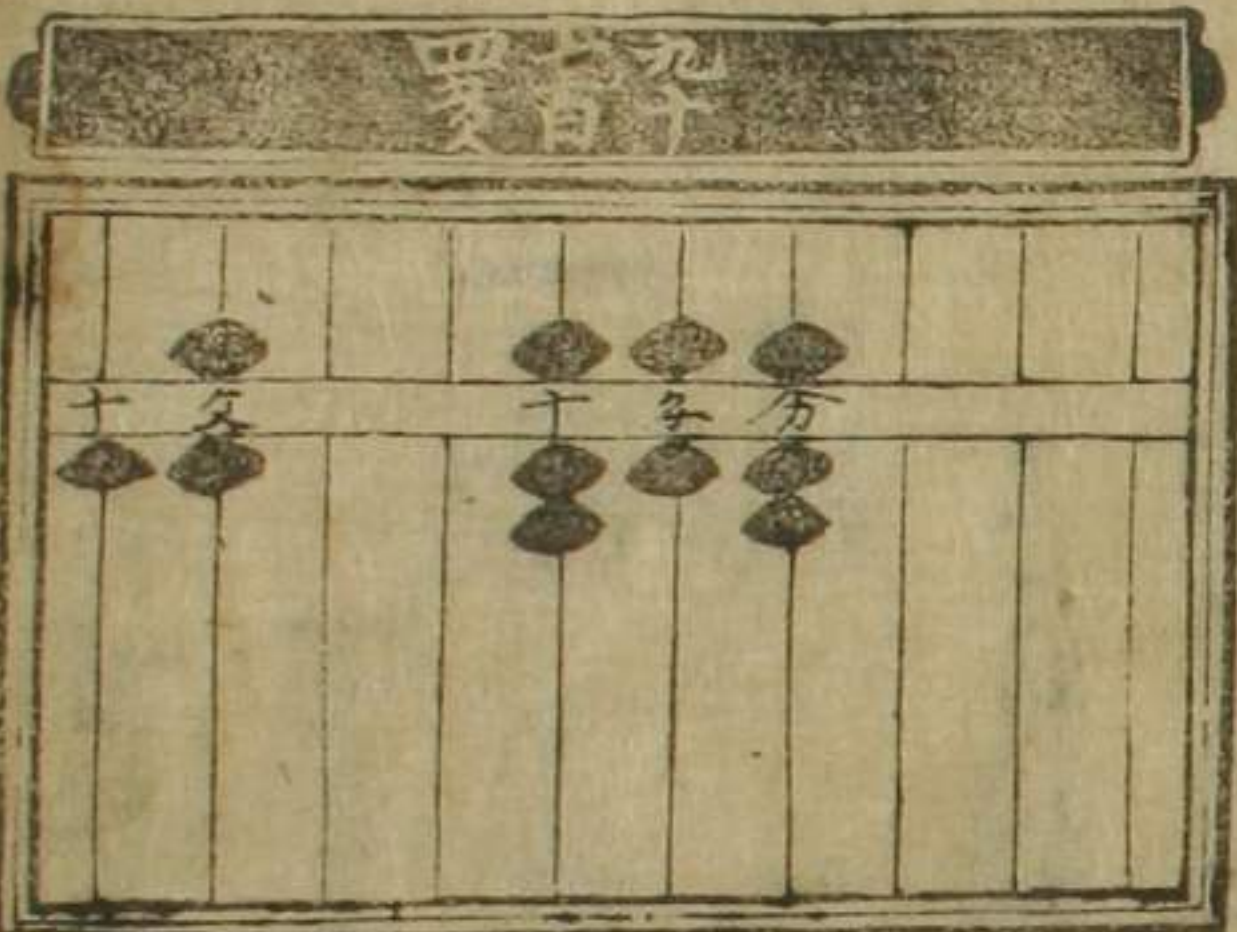
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下

一 又 舟

ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下
ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下	ナカキ下



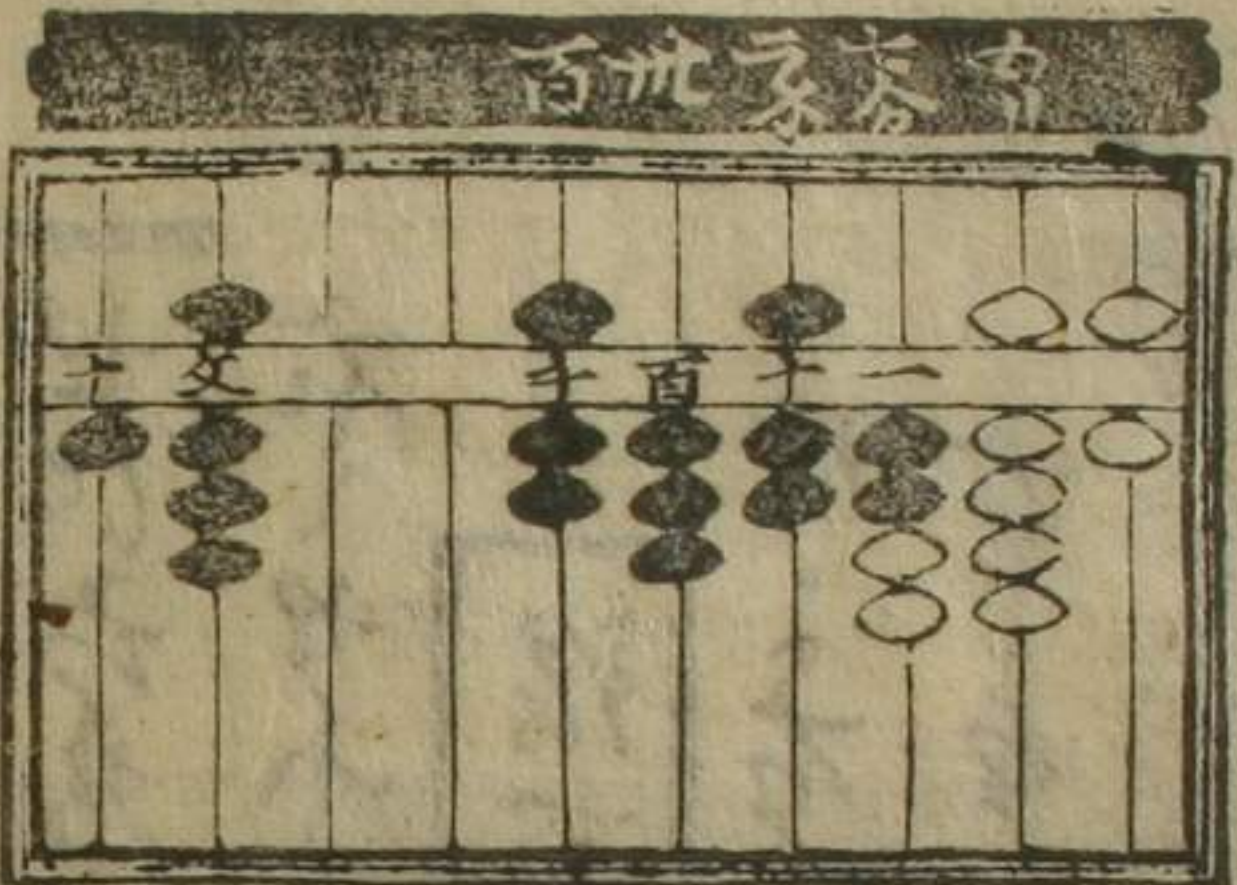
Handwritten text in cursive style, likely bleed-through from the reverse side of the page. The text is mostly illegible due to fading and the angle of the page.



六進	六十九	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六
五進	六十九	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六
四進	六十九	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六
三進	六十九	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六
二進	六十九	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六
一進	六十九	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六

一七に七乗三百七十五又を付一七又を付ナラヌナリ
 右に七乗の積を求めたるを二七に付ナリ
 下よりゆきゆきして二七に付ナリ

四乗七乗の積を求めると



四進	六十九	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六
三進	六十九	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六
二進	六十九	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六
一進	六十九	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六	六六

一七に七乗三百七十五又を付一七又を付ナラヌナリ
 右に七乗の積を求めたるを二七に付ナリ
 下よりゆきゆきして二七に付ナリ

四乗七乗の積を求めると

○世にうらはさうけぞうひまうしてり
百よううらまのわらふてしり

一上後せだ

一男又三付 十の事さうむじ

中後ちんご

一人又二舟 十の事かろお備し

こゝろ後書め程か各三ふりある時かひひて
せんと上中二つりつた時一とせぬじ
中せたとあましあつていもむとて母一

上せに 七黄い首あすし

一人又三舟の
十の事

代福万世三事かひかりじ

中後 七黄い首あすし

一人又三舟の
十の事

代福万世三事かひかりじ

○浪二口合書め程か各三ふりて
はよ上後乃きうむ十をま一 中せぬの
さうむ十の事かろお備し 念世三事
又母はいらそ右も書か各三ふりて
七黄い首あすしとてきりかじ

右へて人のあはぬきさうこ見しうあり

あつひの金七条下りりまこと判金のあつひ

銀の百目久の時の百目と四十四条でわかれ

金七条子銀十条とあがり七条と忍び

あつひ銀七条と忍び金七条下りハリとあがり

銀の拾七条下り九条九条原中忍よりあがり

めけよてまのてあがりてあつひとあがり

右とせん 金七条下りりま判乃さうのあつひ

かろよて右と金七条下りりま判乃さうのあつひ

銀の拾七条下り

は小金七条下りりま判乃さうのあつひ
三十四と銀七条とあがり七条と忍び
あつひ右と銀七条と忍び金七条下りりま判乃さうのあつひ

銀の百目ある時判金のさうとあがりあつひ
右と銀七条と忍び金七条下りりま判乃さうのあつひ

金七条下りりま判乃さうのあつひ

けの銀の百目右と銀七条とあがり七条と忍び
とあがり七条と忍び金七条下りりま判乃さうのあつひ
金七条下りりま判乃さうのあつひ

上金の積方子九分の判きぬ 舟 卅の者ぐへし
 中令百卅の者方分の判きぬ 舟 卅の者ぐへし
 下令の積方子二分あり 判きぬ 舟 卅の者ぐへし
 三口令三百拾七を七分ありをあること判金
 久の付右し三つあり判金ありふれんとす舟

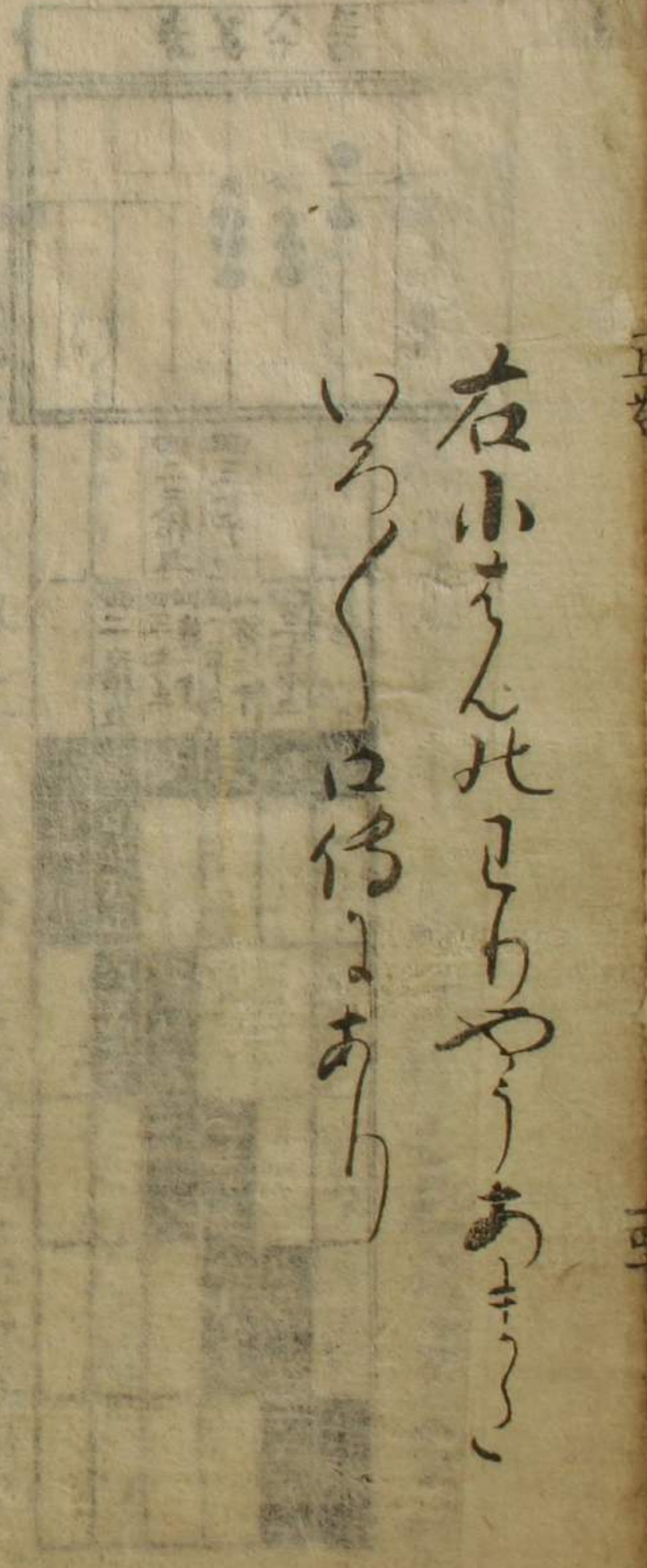
判金七の積方子

けふと九千の者方分と卅の者にけふと九の二枚あり
 およ成○又中百卅の者方分を四千の者にけふと九の
 三枚あり成○又下の積方子二分ありを判金とす
 ありしとす枚をぬおよ成三口令七枚あり成し

金四の積方子

一三	加下十二	二五	加下廿四
三六	加下卅六	四九	加下令四
四の積方子			
進二十			

右小さん此よりやうあまう
いらくは傳ふあり



Handwritten text in a vertical column, likely bleed-through from the reverse side of the page.

○ 弟 夫 利 是 乃 事

浪方黄の首を子目り一日の付一日の付
右の浪方利の首を子目り一日の付一日の付

り合き更ぬ後を子目り一日の付一日の付

浪方黄の首を子目り一日の付一日の付
浪方黄の首を子目り一日の付一日の付

本り合き更ぬ後を子目り一日の付一日の付

浪方黄の首を子目り一日の付一日の付
浪方黄の首を子目り一日の付一日の付

一 ひとみきりつた守り付の付二寸五分
右できりつた守り付の付二寸五分

一 ひとみきりつた守り付の付二寸五分

はよせりつた守り付の付二寸五分
これよりつた守り付の付二寸五分

○ 又右できりつた守り付の付二寸五分

一 ひとみきりつた守り付の付二寸五分

はよせりつた守り付の付二寸五分
毛と二丈の付二寸五分

一 ひとみきりつた守り付の付二寸五分

はよせりつた守り付の付二寸五分
毛と二丈の付二寸五分

一 ひとみきりつた守り付の付二寸五分

はよせりつた守り付の付二寸五分
九寸二分と三寸五分

右きぬにせしりんめんにせしりん
乃七さ改めしりんかけけり

にせしりんにせしりん

初製目付字終

童子敬盤 ヨウニサクハシラ	賓客並履 ヒンカクナラシク	瑠璃然鏡字 ルリニカクカミシ	琥珀饒官 クハクカサリミシ	月下汲酒 ツキノモトニクムサシ	岳松作帳 タケノマツナレトヨリ	野邊吹笙 ノノホトリノクシヤ	木村間引琴 キムラマキイ
盤 ヨロイ	鎧 カウ	字 ヨロイ	簾 カ	釜 フ	獄 コク	箏 シヤ	矢 ヤ
甲孔	帝黃	頡蒼	公成蕪	帝黃	陶阜	恬蒙	犧
粉 コ	弧 コ	磬 ケイ	宮 キウ	市 シ	榻 タ	服 フク	犁 リ
王紂	犧包	蒼帝	帝英	獸祝	帝黃	帝英	均叔
車 カ	蠶 サ	碁 カ	冠 カウ	錢 セン	甑 ソウ	笙 シヤ	磬 ケイ
仲替	代陵西	作嶽	帝黃	王公太	帝英	媯女	班輸
鼎 テイ	履 リ	練 レン	紙 シ	羅 ラ	芥 カイ	杵 キ	矛 ボウ
帝黃	則於	帝黃	倫蔡	代世	農神	父麻	尤
箕 キ	曆 リ	鏡 カウ	獵 カウ	櫛 シ	鋸 キョウ	井 イ	鑿 カウ
康少	成容	壽尹	犧伏	代晉赫	子莊孟	益伯	子莊
鉞 ツ	室 シヤ	醫 イ	灸 カウ	酒 カウ	卦 カウ	瑟 セ	弩 コウ
農神	帝黃	伯歧	帝黃	康杜	犧伏	犧庖	帝黃
席 セキ	春 ハル	耜 シ	鞠 キウ	數 スウ	嫁 カウ	寵 カウ	琴 キン
王武	真赤	農神	帝黃	首隸	始晉華	人燃	農
筭 サン	帚 シ	飯 イ	擊 カウ	鐘 カウ	悵 カウ	斬 カウ	舟 フネ
始	康少	始帝英	譽帝	代烏	帝武漢	曹鳥	狄

谷
三
十
本

鳥
路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

三

鳥

路

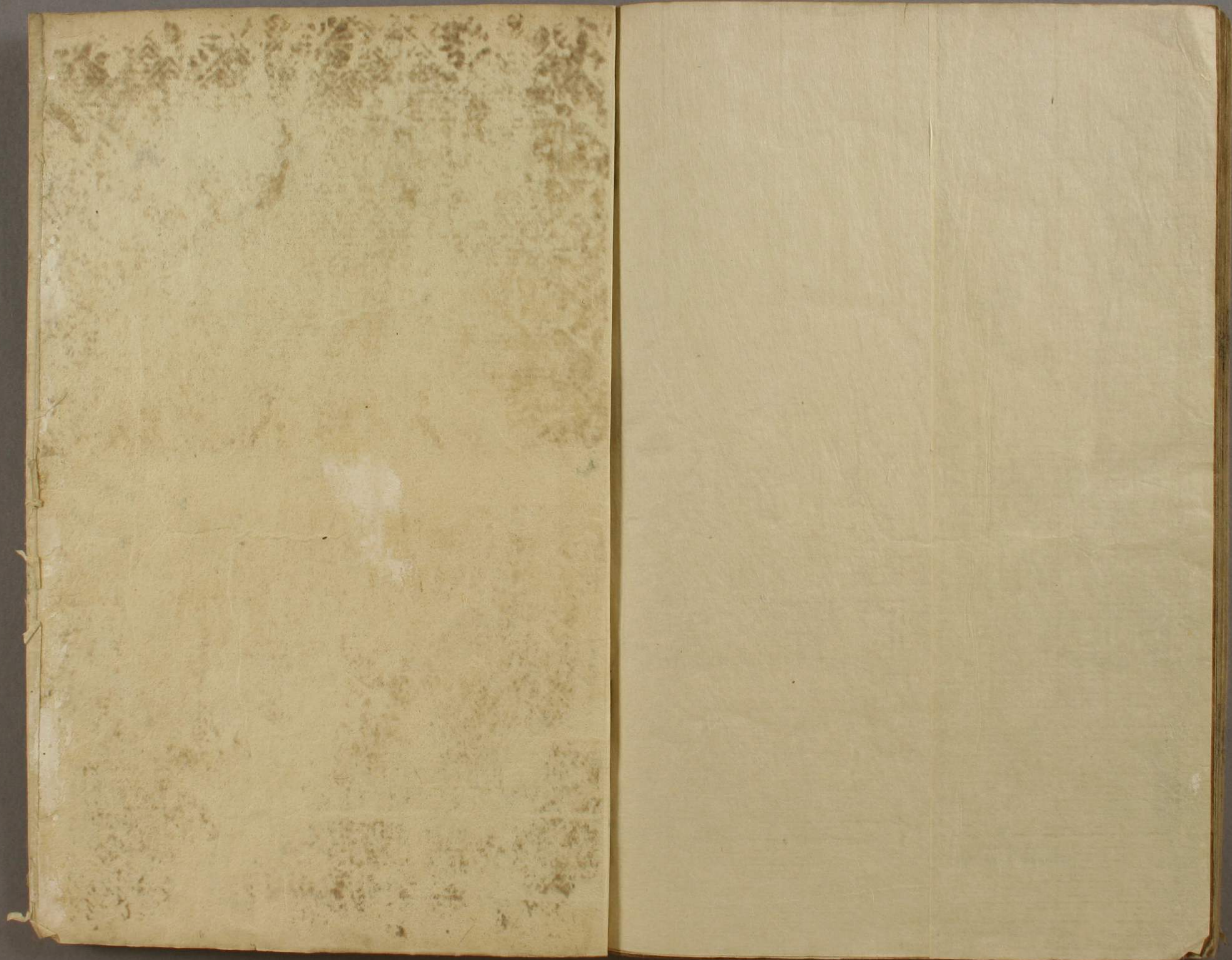
三

鳥

路

三

鳥



本郷区千駄木所書。

佐藤仁之助
様



東京市下谷區上野公園内

帝國學士院

三上義文

特別
= 2
4587

抄

未如抄有子字と得た共一寸は思ふ
可し其件有し其意の上は了りて所為
有る 實は大概如電氣の如く是れ
記と村尾の如くは所為とせしは申す
同付、照會は、是れ先づ申す、其
此田の集行の有、其れ如法尋ね申す
其れ、是れ抄に在りて其れ初め
其れ、是れ抄に在りて其れ初め
其れ、是れ抄に在りて其れ初め

文部省

印十の抄向お見はるる有る
其れ、是れ抄に在りて其れ初め
其れ、是れ抄に在りて其れ初め
其れ、是れ抄に在りて其れ初め

学士院

三上野史

抄

徳政仁の抄
抄

